

福井大学医学部広報誌

くすりゆう



No.85

APRIL / 2022

格致によりて
人と社会の未来を拓く



国立大学法人

福井大学

もくじ CONTENTS >>>

寄稿

- | | | | |
|---|--------------------------|-----------|-------|
| 1 | withコロナ世代の新入学生諸君へ | 学長 | 上田 孝典 |
| 2 | 歓迎の言葉 ～withコロナの大学生活に向けて～ | 医学部長・医学科長 | 藤枝 重治 |
| 3 | 非学無以広才 | 医学部附属病院長 | 大嶋 勇成 |
| 4 | 福井で暮らし、福井大学で学ぶ | 看護学科長 | 長谷川美香 |

特集

- | | | | |
|---|--|------------------------------|-------|
| 5 | 新型コロナウイルス感染症、福井大学この1年 | 感染症講座 | 酒巻 一平 |
| 6 | コロナ禍における医学部正課・課外活動の取り組み～2020年3月から現在に至るまで～ | 松岡キャンパス学務課
副医学部長（学生、評価担当） | 定 清直 |
| 7 | 福井大学における医療人材養成事業 (University of Fukui Infectious Disease Expert Education Program: UF-IDEEP) と特色あるカリキュラム「感染症」の新設 | ゲノム科学・微生物学 | 定 清直 |
| 8 | Together～居場所×学び～で子どもたちの選択肢を広げる | 医学科4年生 | 三木静吏那 |

定年退職教員紹介

- | | | |
|----|---------------------------------------|-------|
| 9 | 福井県に於ける異状死の死因究明活動状況 -2008年度以降の整備と課題- | 島田 一郎 |
| 10 | 福井大学での13年間を振り返って | 腰地 孝昭 |
| 11 | 泌尿器科医として、また1研究者として -福井大学での20年間を振り返って- | 横山 修 |
| 12 | 放射線医学教授職退任にあたって | 木村 浩彦 |
| 13 | 災害看護と共に23年 -「一つのことを極めなさい」- | 酒井 明子 |

新任教員紹介

- | | |
|----|---|
| 14 | 上原 佳子／山村 修／森岡 浩一／酒巻 一平／木戸屋 浩康／水野 賀史／嶋 雅代
北野 史浩／磯崎 誠／細川 康二／梅田 幸寛／早稲田 優子／奥野 貴士／礪波 利圭／尾崎 久美 |
|----|---|

新入生のみなさんへ

- | | |
|----|--------------------------------|
| 19 | 教務情報システムと提出書類／医学部生として知っておくべきこと |
| 20 | 学生支援体制について |
| 22 | 医学図書館へようこそ♪ |
| 24 | 語学センターのご案内 |
| 26 | 先輩学生からの応援メッセージ |

健康・相談

- | | |
|----|--------------------------|
| 27 | 学生総合相談室のご案内 |
| 28 | キャンパス・ハラスメント防止のために |
| 29 | 令和4年度学生定期健康診断等日程表 |
| 30 | 健康相談とカウンセリング |
| 31 | イッキ飲み、しない！させない！社会のルール ほか |
| 32 | こころの健康について、考えてみませんか |

トピックス

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 33 | 令和3年度学長表彰、医学部優秀学生表彰 / 令和3年度卒業生からの寄贈品 |
| 34 | 医師国家試験合格状況一覧 |
| 35 | 保健師・助産師・看護師国家試験受験状況一覧 |
| 36 | カナダ オンタリオ州オタワより F. GMESの開催にあたって |
| 37 | クレムソン大学との学生交流 |
| 38 | 学生アイデアコンテスト / 避難訓練について |

課外活動

- | | |
|----|------------|
| 39 | 部活動・サークル紹介 |
|----|------------|

1年のあゆみ・行事

- | | |
|----|---------------|
| 49 | 令和3年度 1年のあゆみ |
| 50 | 令和4年度 医学部授業日程 |
| 51 | 寄附のお願い |

〈表紙の写真〉
医学科4年「診療参加型臨床実習Ⅰ」
総合診療部

〈裏表紙の写真〉
〈冊子中の山や花の写真〉
松岡キャンパス勤務の教職員より提供

withコロナ世代の新入学生諸君へ

福井大学長 うえだ たかのり 上田 孝典



令和4年度新入学生の皆さん、本学医学部への御入学を心より歓迎いたします。実はこの文は、1月の共通テストの試験立ち会いの際に、空き時間のなかで、執筆しています。その前日には、オミクロン株を中心に60名の県内感染者を認め、急拡大の時期でした。感染し易く、しかし重症化しにくい新たな特色を持つオミクロン株の出現のため、本誌が新入生である皆さんのお手元に届く4月にはどんな状況なのか、予想するのはやや困難です。おそらく、コロナ禍が完全に収束した状況ではなく、といって社会活動が停止に近い状況でもないwithコロナの状況を推測しています。本来死亡割合が高率のパンデミックですが、度重なる変異株出現に続き現在顕在化しているオミクロン株の認める病原性（重症化度）低下と、ワクチン摂取の普及、社会的閉塞感の昂進により、顕在化しつつあるwithコロナへの対応を本学でも検討すべき時期となりました。因みに昨年末にwithコロナへの本学構成員の対応準備状況を伺い知るため、全学構成員を対象とする、福大withコロナ対策コンペを開催しました。当初応募者不足も心配でしたが、それは杞憂となる、学生45件、教職員30件の応募があり、医学部学生も魅力あるテーマで採択されました。コロナ禍で大学の質の向上を目指す重要性が私も認識できました。この事についての新入生諸君のアイデアもお聞かせください。

ところで、全国の国立大学はいま、人口減少、少子高齢化を前にアクティビティ、経営の両面で厳しい状況にあります。しかし本学は大学評価の際、地方国立大学で構成される群に属しているのですが、その中で文科省のランキングでは結構上位にランクされ、医学部も諸先輩や皆さんがしっかり後継役になっていただければ、前途は明るいと思います。

本学は、国の指示する第四期中期目標の策定にあたり、目指す方向性について共通認識を持つため、福大ビジョン2040を策定しました。2040は、我が国の高齢化率がピークに達し、団塊ジュニア世代が全て65歳に達する節目の年で、そこでのあるべき姿を示します。一つは「世界に通じる地方総合大学」であり、小規模でも、総合大学としての機能を有し、いわゆる尖った部分では世界レベルの教育、研究を実践する、単なる地方大学を超えた大学です。二つ目は「社会から頼りにされる活力ある大学」です。これを名乗るためには、まずは我々が、少なくとも地域社会で認められる位、元気であり、プライドを持つ大学たる必要があり、かつキャンパスに篤ることなく地域に出向いて魅力ある、かつ持続的な地域医療の中核を務める大学を目指します。このことは、学内で先進医療の充実と、それを地域に還元する意味でも共存可能です。

皆さんが医学部に入学した大きなメリットは、意外かもしれませんが、入学時に、職業選択をしている事です。これは、他学部と比べての大きなメリットです。医学科なら、まだ、循環器内科とか、心臓血管外科などの、専門科目が決まってないと思うかもしれませんが、しかし、経験的に、途中で一度決めた専門科を変更する人はまれであり、私は、それは、一つ一つの専門科の中に、どんな希望もある程度満足させれる位の多彩な領域があるからだと思います。つまり、他人でなく自身が決めるなら、この事であまり悩む必要はないと思います。看護師も、これからの地域医療で、多職種の要となってゆき、専門性も豊かになる極めて楽しみな分野です。

皆さんひとりひとりの頑張りが、学生時代を豊かにし、やがて実を結ぶ時を楽しみにしています。

福井大学長 うえだ たかのり 上田 孝典

1949年生まれ。京都大学医学部卒。内科医。1984～1986年、米国ノースカロライナ州立大学薬理学教室研究員。1995年、福井医科大学内科学(1)講座教授。2013年、福井大学理事・副学長(企画戦略担当)。2019年4月より福井大学長。

歓迎の言葉

～withコロナの大学生活に向けて～

医学部長・医学科長 ふじ えだ しげ はる
藤枝 重治



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。1990年から始まったセンター試験を含め、第2回共通テストは最も難易度が高く、試験中かなり焦ったことだろうと思います。しかし皆さんはそれとともに本学の二次試験も見事乗り越え、いよいよ大学生活が始まります。COVID-19は、ワクチンの普及で克服できるのではないかと期待させましたが、重症化の点ではかなり有効ですが、市民生活への影響は依然として大きく、まだまだ以前の生活には戻れません。しかし時代は、withコロナとして動き出し、福井大学医学部も様々な対策を行って、皆さんたちが新しい大学生活を送れるようにしたいと努力しています。一昨年の新入生は、前期はすべてオンライン授業でした。昨年はオンライン授業と対面授業を組み合わせたハイブリッド型でした。本年は、現在のところ対面授業重視で行いながら、復習や体調が少しでも悪く休んだ学生用にオンライン授業を使用することにしています。敢えて言うなら対面重視のハイブリッドです。ですから少しでも体調が悪い時には、必ず休んでください。一昨年のように1年生同士、部活の先輩との会話がない状態は避けるように大学としても最善を尽くします。その代わり、幾つかのコロナ対策は必ず守ってください。よろしくお願いします。

人生の中で、学生時代の友人は、一生の友です。何の利害関係もなく、何時会っても学生時代に戻れます。とりわけ時間を自由に使える大学での友人は、皆さんの人生の宝です。人生、恋愛、仕事、

勉強、すべてにおいて毎日語り合って欲しいと思います。

さて、医師・看護師・保健師などの医療人に就く皆さんに必要なのは、幅広い豊かな人間的素養です。皆さんの生活環境、人生経験、物事の考え方をほとんど知らない段階で、診断した病気について説明し治療を相談しなければなりません。すなわち「こちらがこの様に言ったら、相手はどの様に感じるのか」と推測できないといけません。「無礼な医師だ」「人を想いやれない医療者だ」とか聞いたことはないですか？皆さんは決してそのようなことは言われたくないと思います。そうならないためには、読書が最も有効なのです。世の中には様々な価値観、思考過程が存在します。読書によってそれらを知識として知ることができるのです。恋愛小説、推理小説、医学小説、時には哲学、芸術解説書、どのような本でも構いません。読書によって、人は謙虚に作者の価値観や知識を知り、「教養」、「想像性」、「洞察力」が身に付けられます。それでいて知的好奇心を高め、高度の専門能力を有することができる基礎を作ります。多くの価値観を知っている医療者が、複数の方法で治療を説明でき、ベストの結果に結び付けられるのです。最初の数冊の成功体験が読書の継続を生みます。気力旺盛で高い志を持つ今こそ、まず1冊読みましょう。

次に様々な芸術に触れてください。医療者になると音楽、絵画、書道、茶道、華道、そのほか様々なものに、大きな力が

あり、患者さんの生きる力になることを知ります。もちろん自分も癒されます。岡倉天心の「茶の本」では、「花はわれらの不断の友である。花がなくてどうして生きて行かれよう」とも書かれています。学生時代に、もし素敵と感じる芸術・美術を発見したならば、それほど素晴らしいことはありません。一生あなたに潤いを与えてくるとともに、患者さんを勇気付けることが可能となります。

医学を学ぶ最初の関門は、解剖学です。本気で勉強する必要があります。本気で勉強することで、学力に加え、論理的な思考、問題を見つける力、完遂する力を養えます。この解剖学が1年生から始まります。最初が肝心です。ここをスムーズに乗り越えれば、その後も大丈夫だと思います。皆さんの脳では、膨大な情報処理が行われています。現在教育界では、トランスフォーメーション (DX) 化が叫ばれ、すぐに使用できるように情報を並び替え、予想される質問にすぐに回答できるように整理しようと多くの時間が割かれ、これらを繰り返して学習した人工知能 (AI: artificial intelligence) に過剰な期待がかけられています。一方皆さんの脳には、素晴らしい知能が存在し、一瞬のうちに覚えてしまいます。しかしインプットが絶対に必要です。福井大学医学部では「真理を探究する知への愛」として自分自身の無知を自覚して、真理 (知識) を獲得する努力を惜しまず、「人命を尊重し人間に共感する人」になる医師を育てようとしています。皆さん、期待しています。一緒に頑張りましょう。

非学無以広才

医学部附属病院長 おおしま ゆう せい 大嶋 勇成



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより日常生活に様々な制約が加わり、オミクロン株による感染拡大のため受験まで大変であったことでしょう。変異株が次々と出現し、新型コロナウイルスの流行が何時終息するのか分かりませんが、かつて新型インフルエンザが季節性インフルエンザとなったように、新型コロナウイルスも風邪のウイルスの一つと言えるようになることを期待したいところです。今しばらくは、感染予防対策を徹底していただき、with コロナであっても学生生活が有意義なものとなることを願っております。

2022年4月1日より成年年齢が18歳となったことで、新入生の皆さんは全員が、親の同意を得なくても自分の意思で様々な契約などが出来るようになり、大学生とは言え、成人としての社会的責任を負うことになります。将来、医療に携わる医学部生には、コロナ禍における行動には、他の学部生以上に自覚と責任が求められていることを認識してください。

さて、新型コロナウイルスに対するワクチン接種をみてもわかるように、RNAワクチンの基礎研究、臨床現場

への応用にもけての研究、ワクチン接種体制の調整、実際のワクチン接種など、多数の医学研究者、医療従事者がそれぞれの役割を果たしています。皆さんは将来どのような医療従事者、あるいは医学研究者を目指して医学部に進まれたのでしょうか。医療の進歩にともない、習得すべき医学知識は増加の一途をたどっています。大学入試に合格したのも束の間、大学生の間だけでなく卒業後もずっと医学の勉強を続ける必要があります。医学部の講義では、自分の興味がある分野以外の勉強も必要になります。諸葛亮の誡子書には「才は須く学べし。学ぶにあらざれば、以て才を広むるなく、志あるにあらざれば、以て学を成すなし。」と書かれているように、医学部を目指そうとした志を忘れず、自分の理想の将来像を追求するため、大学で何を学ぶかを考えてみて下さい。

医学部では教室での講義以外に、病院での臨床実習があります。臨床実習では、診療に必要な知識や手技の習得だけでなく、患者中心、患者本位の立場に立った医療人の育成が求められています。実習を通して患者から学ぶことは、教科書やe-ラーニングのような動画資料を用いた学習のみ

では決して得ることが出来ないものです。将来、AIが発達すれば、シミュレーターの活用などで、実習の内容はある程度は補完できるかもしれませんが、患者とその家族、他の医療スタッフとのチーム医療としての協働作業を全て代替するのは困難でしょう。臨床現場で患者に接する際には、患者やその家族の置かれた状況を理解し、共感出来ることが重要になります。そのためにも多様な価値観、考え方に触れる機会を積極的に作って下さい。

新型コロナ感染症のため部活動、サークル活動、アルバイトなどは制限が多く、人と交流することは、以前と同じようすることは困難かもしれませんが、withコロナでも可能な方法はあるはずです。コロナ禍によりICTの導入が進み、福井にいながら全国学会や国際学会に参加することも可能になっています。地方にいてもその気になれば、全国、世界の情報も得ることが可能になってきており、情報という点では地域格差を縮めることは可能です。これから福井で学生生活を送るわけですから、どうせなら福井の地、そして福井大学でしか経験できないものに挑戦してみてください。

福井で暮らし、福井大学で学ぶ

看護学科長 は せ がわ み か 長谷川 美香



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

いよいよ、福井大学医学部看護学科の学生としての生活が始まります。福井県内出身者の方々にとっては慣れ親しんだ福井での大学生活を、県外出身者の方々にとっては福井での新生活に慣れ、安心して大学生活をスタートできることを願っています。

福井県の魅力って何だろう…？
その1つに「幸福度日本一」があります。犯罪率、救急車の出動率ともに日本一少なく、保育園の待機児童ゼロ、特別養護老人ホームなどへの入居待機者もゼロと、安全・安心に暮らせる地域、それが福井県です。県内出身者の方々はあまり意識していないかもしれませんが、県外出身者にとって福井県は暮らしやすい地域だと実感しています。そういう私も県外出身者です。看護学科では、ふくい風土、医療・保健・福祉の実情、社会的ニーズを踏まえ、ふくいに暮らす生活者の視点に立ち、ふくいの健康課題、へき地での医療課題に対応可能な看護を実践できる「ふくい看護力」の修得をカリキュラムで位置付けています。看護学科で「ふくい看護力」を修得し、卒業後は福井県の地域医療を担う看護職として、ぜひ活躍していただきたいと願っています。

次に、福井での生活がイメージできるよう、県外出身者の私から「福井あるある」をお話します。福井の生活で困ったこと、一つ目は車の運転です。車が無いと生活できないと聞いていたので、自動車学校のペーパードライバー講習に通い、車庫入れの自主練習に励みました。その甲斐もあり、今では車の運転に慣れましたが、慣れずぎることに注意もしています。みなさんの中には車で通学される方も多くいると思いますが、人身事故を起こした場合、国家試験を受験した後の免許申請時に欠格事項に該当しているかを申告する義務があります。くれぐれも、車を運転する際は安全運転心がけてください。

二つ目は雪です。福井では雪も生活の一部です。雪が降る前に雷が鳴ること、福井県民の雪かきの上手さなどに驚きました。2018年、2021年の豪雪では、改めて福井県が北陸地域であることを実感させられました。力任せの雪かきは、悲惨な筋肉痛となります。初めて雪かきをする際は、福井県民の雪かきをこっそり盗み見し、その技を極めていくことをお勧めします。たかが雪かき、されど雪かきです。

最後に、福井大学看護学科学生として、みなさんに伝えたいことをお話します。新型コロナウイルス感染症

の蔓延により、これまで当たり前だと思っていた生活が一変しました。東京オリンピックの開催延期、旅行・外食の自粛、大学のオンライン講義、そして医療現場においても、医療の在り方が問われるものでした。患者さんに最も身近な存在でかつ日常生活をサポートする看護職は、感染拡大防止と患者さんの尊厳に配慮し看護ケアを実践しています。また、自分が感染する、家族に感染させるかもしれないという不安、そして私たち看護職に対する偏見など、厳しい状況下に置かれています。しかし、多くの看護職は、人々の健康と生命を守るため、日々看護ケアを実践しています。マスコミによる医療現場の状況が報道されるたび、若者の看護職離れが進むのではと危惧していました。しかし、みなさんは福井大学を選び、将来、看護職になることを自ら決心した人たちです。その決断を嬉しく思うと共に、看護職への新たな一歩を踏み出したみなさんを、福井大学医学部教職員一同、心から歓迎します。そして、大学生活では看護学を学ぶだけでなく、人として成長するうえで多くの豊かな生活経験を重ねてください。将来の看護界を担うみなさんに期待しています。

特集 1

新型コロナウイルス感染症、
福井大学この1年感染症学講座 教授 さか まき いっ ぺい
酒巻 一平

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2019年末から世界に広がり、すでに2年が経過しましたが、未だ感染の流行が続いています。

2021年度はアルファ株による第4波、デルタ株による第5波を経験しており、福井大学医学部附属病院においても病棟1つを新型コロナウイルス感染症専用病棟として運用しました。

4月から5月にかけてのアルファ株の第4波では、若い方でも重症になる方も多く、福井大学医学部附属病院においてもICUで人工呼吸器管理となった症例も数例おられました。

7月から11月にかけてのデルタ株による第5波では、福井県では1649名の感染者がおりましたが、重症者は福井県全体でも6名であり、これは全国的にみてもかなり低い重症化率です。治療法が確立し、抗リウマチ薬や、抗体カクテル療法などの新しい治療法が使用可能になったことに加え、広く検査をし、早く医療にアクセスできる、いわゆる福井モデルが功を奏したと考えられます。

福井大学医学部附属病院においても第5波では、100名以上の患者さんを受け入れましたが、ICUに入室

した重症者は1名であり、救命できています。外国人、認知症のご高齢の方、介護が必要な方なども多く、治療とはまた別の大変さもありましたが、各診療科からの主治医や、夏の暑い時期にはアイスノンを首にまいてレッドゾーンでケアをした看護師をはじめとした多職種の職員が一丸となって治療にあたった結果の治療成績でした。

この間、福井大学松岡キャンパスにおいても学生の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）陽性者、職員の陽性者、附属病院においても患者さんの陽性者があり、たくさんの困難がありましたが、そのたびに職員一丸となり乗り切ってきました。

2021年度にはワクチン接種も始まり、職員、学生ともにほとんどの方がmRNAワクチンの2回接種を行いました。ワクチン接種に関しても、医師、看護師、事務員をはじめとした多くの職員が携っており、その結果、ほとんどの方の接種をスムーズに終わることができました。ワクチンの効果は数か月経過すると減弱することが分かっており、2021年末から3回目接種が始まっています。再度皆様のご協力が必要ですが、よろしくお願いいたします。

2022年初頭、日本ではオミクロン株による第6波となっています。オミクロン株による感染症は上気道症状、いわゆる風邪症状がほとんどで、重症化率は低いと言われています。しかし感染力が非常に強く、感染者が爆発的に増えています。重症化率が低いと言っても感染者が増加すれば一定数の重症者が出てくることが予想されます。感染者数を抑制することが重要ですが、私たちひとりひとりができる感染対策はこれまでと変わりません。3密を避け、流水と石けんによる手洗いとアルコールによる手指消毒をし、会話の際にはマスクをする、といった基本的なことをしていただくことが重要です。90%以上がマスクをしていない状態での会話の際に感染していることが分かっており、特に会話の際のマスク着用の徹底をお願いいたします。



感染症実習の様子

特集 2

コロナ禍における医学部正課・課外活動の取り組み ～2020年3月から現在に至るまで～

一正課活動・新型コロナウイルス ワクチン接種について一

松岡キャンパス学務課

新型コロナウイルス感染症が出現した2020年1月、医学部では3月から開始する臨床・臨地実習を中止し、学生は4月から登学禁止となりました。これに対応するためGoogle Workspaceを活用した医学部独自の遠隔授業支援システム「F.MOCE (Fukui-Medical Online Communication & Education system)」を企業と共同開発し、GW明けから遠隔授業を開始しました。一方、臨床・臨地実習もGW明けからGoogle Meet等を利用したオンライン実習を開始しました。しかし、医療現場での経験や患者さんと向き合うことのない臨床・臨地実習では、十分な学修成果を得ることはできません。そこでコロナ禍での実習の実施方針を話し合うための医学部実習Step判断会議(医学部長、病院長、看護学科長、感染症専門医、看護部長等)を設け、Step 1～4の実習段階を設定しました。国内の情勢、特に福井県内における感染状況を考慮に検討を行い2020年7月から登学しての臨床・臨地実習を再開しました。今でも福井県内、学内、附属病院の感染状況を見極めながらどの実習Stepで行うか随時検討し、実習施設の協力を得ながら可能な限り臨床の現場での実習が行えるよう日常生活での感染対策も励行するよう注意喚起を行っています。

2020年後期からは面接(対面)授業を主体とし、大教室の座席の間隔を空けての授業や、一つの授業を2教室に分割し、一方は面接授業、他方の教室には映像と音声を配信するなどの工夫を行って授業を開始しました。また、少しでも体調が優れない場合は無理に登学せずに自宅での待機とし、このような学生の修学機会を確保するため、教員は全ての面接授業を同時収録した授業動画と資料をF.MOCE上にアップロードし遠隔授業(オンデマンド型)を受けられるようにしました。現在は、原則面接授業を実施していますが、やむを得ない場合は遠隔授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型)を行うハイブリッド型の授業が行えるような体制を整えています。

新型コロナウイルスに対するワクチン接種については、主に病院部の協力を得て、臨床・臨地実習中の学生は、1、2回目ワクチン接種を医療従事者枠で2021年4月、5月に接種し、他の学生は職域接種で2021年6月、7月に接種しました。また、臨床・臨地実習中の学生の3回目ワクチン接種は、2022年1月末に実施し、他の学生も3月、4月に順次接種する予定です。思い返せば一昨年度の新入生と直接会うことができたのはお盆明けでした。当時は全国的な緊急事態でやむを得ませんでした。やはり顔を合わせて語り合い、共に学んでこそ有意義な大学生活が送れ

るものと思います。コロナ禍前の状態に戻るにはまだ時間がかかりそうですが、様々な問題が起きても学生と教職員が共に考え、より良い方向に進んでいけるようにみなさんの活動を支援していきたいと思います。

一課外活動について一

副医学部長(学生、評価担当) 定 清直

新型コロナウイルスの流行により、学生の課外活動は大きく制限されることとなりました。福井県及び近隣府県の感染状況に応じて、県内・県外の大会や演奏会、イベント等への参加、本学施設での活動が許可制あるいは禁止となり、大学生活に期待することの一つであったはずの課外活動が十分に出来ない状況が続いています。面談した上級生の先輩達は皆口をそろえて、後輩諸君のことをとても心配し同情しています。私も卒業生として、またかつて本学で主将として課外活動に参加したOBとして、学生諸君の気持ちが痛いほどよくわかります。今年度「学生」担当の副学部長を拝命するに際し、関係の先生方とも相談し、基本方針を定めました。①課外活動を通じて学生生活の楽しい思い出を遺すことができるように最大限配慮することと、②コロナ禍によるコミュニケーション不足を課外活動で少しでも補足できるように配慮すること、の二つです。

「新型コロナウイルス感染防止に向けた学生の行動指針」をもとに、年

末には流行が一段落したこともあり、活動制限の緩和や活動時間の延長（コロナ前の状態にできるだけ戻す）を進めてきました。一方、医学部は附属病院に隣接し、上級生は病院での実習を行うことから、ワクチン接種や県外への移動に制限があることを説明し、特に食事（打上げ）の際の感染リスクについて、説明を繰り返してきました。学生さんからは、「もっと活動範囲を広げたい、許可して欲しい」という意見と、「医学部の対応は十分ではない、このままでは不安

だ」という意見が寄せられています。私たち学生支援チームは常に学生の側に立ち、できるだけ面談の機会を持ちたいと考えています。一方、残念ながら大学からの連絡事項を聞き入れない学生もいます。不自由な環境にあるのは決して学生だけではありません。どうしてそうなったのか、大学で学んだ微生物学や免疫学、感染症学の知識をもとによく考えて下さい。それでも疑問に思うことがあれば、質問に来てください。

今年に入り第6波の感染拡大が生

じました。新たな変異株は感染力が強く、一層の感染予防対策に努める必要が生じています。この原稿を書いている3月1日現在、活動範囲を広げることが難しい状況が続いていますが、近い将来、必ずや感染症を克服できる日が来ます。新入生を対象とする行事の準備も着々と進めています。課外活動の楽しい思い出をつくり、学生間のつながりを失うことのないように、力を合わせてこの困難に対処していきましょう。

特集3

福井大学における医療人材養成事業 (University of Fukui Infectious Disease Expert Education Program: UF-IDEEP) と特色あるカリキュラム「感染症」の新設

病因病態医学講座 ゲノム科学・微生物学 教授

さだ きよ なお
定 清直



福井大学では、コロナ禍の医療問題に対応するための国の施策である「感染症医療人材養成事業」の採択を受け、感染症に関する最新で高度な知識・スキルを身につけることができるよう、医学部（医学科・看護学科）と附属病院、福井県（寄附講座）の協力体制の下で、特色あるカリキュラム「感染症」を新設しました。新興感染症の診断が出来る医師、ECMOに代表される高度医療の実践できる医師の育成、高度な感染症医療に対応できる看護師の育成を目的としており、さらに研修医や大学院生等の卒後教育、社会貢献、国際的視野の涵養を包含する事業となっています。

2021年度入学の医学科の1年生

には「個人防護具の着脱法実践」について、看護学科の1年生には「手洗い・滅菌手袋装着、手指消毒・無菌操作、ガウンテクニック」について、附属病院スタッフの協力も得て、入学直後の学生を対象に専門的な講義と体験実習を実施しました。「百聞は一見に如かず」参加した学生からは、「防護服や手袋を脱ぐときには、常に汚染されている場所を考慮しなければならず、非常に大変そうであると思ったと同時に、コロナ対応にあたる方には感謝しかないと思った。自分もそのようになれるように、先生方を

見習って成長していきたい」等の感想が寄せられ、高い学習効果があったと考えています。

教育内容の詳細はHPを参照して下さい。

<https://uf-ideep.med.u-fukui.ac.jp/>



感染症診断学実習の様子

特集 4

Together ～居場所×学び～で子どもたちの 選択肢を広げる

医学科4年生 ^{み き せ り な} 三木 静吏那 (学生団体 Together)

こんにちは、学生団体 Together です。
私たちは福井県内の小～高校生
を対象に、学習教室やワークショップ
を通じて子どもたちの居場所とな
り、将来の選択肢を広げることを目的
として活動を行っている学生団体です。
2020年12月に設立し、沢山のご支
援のおかげで結成2年目を迎えました。

団体名の由来でもある「Together
We Can Make it Possible」には「一
緒ならできる。」1人では出来なかつた
り立ち止まってしまうことも、みんな
と一緒にできる、という願いを込め
ています。それは子どもたちにも、そ
して私たち Together のメンバーにと
っても共通することで、一緒に時間を過
ごし互いに影響しあうことが、それぞ
れにプラスに働くといいなと願ってい
ます。

現在、団体メンバーは14名でその
ほとんどが福井大学医学部の学生で
す。今後は学内に留まらず、一緒に活
動してくれる福井県内の学生数をさ
らに増やしていけるよう考えています。

活動は週に2回、Hearts 学園店
様や湊公民館様、福井駅前の株式
会社 WALLESS 様のいずれかの
部屋をお借りしておこなっています。
COVID-19感染拡大の影響で zoom
用いたオンラインによる開催に変更
になる場合もありますが、感染対策
を徹底し場所を提供くださる方々、
通信環境を整えてくださる親御さんの

ご協力もあり継続して活動を続けて
れています。

私たちは無料塾とは異なる新たな
学びの場形目指しています。コンセプ
トは“居場所×学び”で、家でも学校
でもない第3の学びの場となることよ
うな場所を作っています。学校の勉強
の補助などの認知能力に加え、様々
なワークショップを通じ社会で生きる
知識を提供し、それにより新たな自分
を発見できる非認知機能の向上に焦
点をあてています。

私たちには活動を行う上で、大切に
している以下の3つの要素があります。

- 1：平等な関係
- 2：傾聴と共感ができるオープンな
スタンス
- 3：子どもたちの将来に責任を持つ
先生と生徒、というような上下関係
を無くしてひとりの人として互いに
関係を築くようにし、参加してくれた
子ども達が心を開けるように傾聴と
共感を心掛けています。また、小中高生

という多感な時期の
子ども達と接するため、
自らの言動が子ども
達の将来に直結する
という自覚を持って活
動をおこなっています。

昨年度は「ふくい市
民活動基金」助成事
業の認定を受けた他、
活動内容に賛同して

くださった個人の方々から寄付を頂
きました。また複数の企業様が事業相
談にのってくださり、活動場所の提供
もして頂きました。更に日刊県民福
井、福井新聞、FBC「おじゃまっテレ」、
m3.com、広報ふくいに取り上げてい
ただき、活動の規模を広げ、団体継
続のための基盤作りもおこなうことが
できました。

今年度は早速、2022年1月に開
催された「FUKUI SDGs AWARDS
2021」で優秀賞を頂き、活動2周年
目をより一層身の引き締まる思いで
スタートすることができました。

学生団体 Together は今後も福井
県の子供達と共に、活動を続けて
いきます。

私たち学生団体 Together の活動
内容に共感し一緒に活動してくれるメ
ンバー、ご支援して頂ける企業様なら
びに個人様のご連絡をお待ちしており
ます！



福井県に於ける異状死の死因究明活動状況

—2008年度以降の整備と課題—

しまだ いちろう
島田 一郎 (退職時所属・職名：法医学・人類遺伝学 教授)



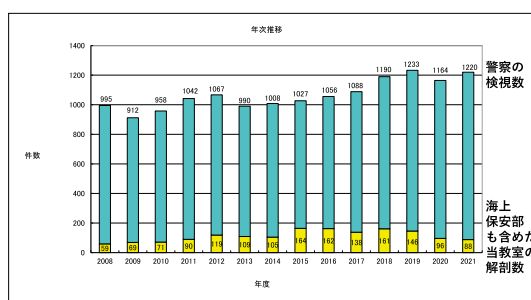
本教室は、1984年（昭和59年）4月、初代教授として、岸 紘一郎教授が着任し開講、1996年（平成8年）3月、第二代教授として、松木孝澄教授が着任、2015年（平成27年）10月、第三代教授として、私が昇任（准教授2008-15）し、現在に至っております。

私は、前任の富山医科薬科大学に於いて、進行癌患者の尿中に排泄される結合型シアル酸量／遊離シアル酸量（B/F比）は、正常者でのB/F比よりも有意に高値であり、また、主たる結合型シアル酸はN-アセチルノイラミニル（ $\alpha 2-3$ ）ラクトースであることを見出し、医学博士の学位を取得、その後、ヒトABO血液型遺伝子の5'上流域に存在するミニサテライトに多型性が存在し、その多型性とABO血液型遺伝子との間に連鎖が存在することを見出しました。更に、ドイツミュンスター大学 法医学研究所のブリンクマン教授の下での海外研修で、ベトナム人、クルド人、モロッコ人、シリア人などの集団に於けるshort tandem repeat（STR）多型の調査を行いました。本学では、恩師の薫陶を礎として、高濃度酸素曝露によって誘発される瀰漫性肺泡傷害（Diffuse alveolar damage: DAD）の研究を展開し、（1）マウス肺および線維芽細胞様細胞株NIH/3T3に於いて、高濃度酸素曝露によりc-Myc遺伝子の発現亢進、（2）マウス肺およびヒト肺腺癌細胞株A549に於いて、高濃度酸素曝露によりBax遺伝子の発現亢進、（3）NIH/3T3およびA549に於いて、高濃度酸素曝露により、 H_2O_2 生成の増大、Caspase-3/7 活性の亢進、apoptosis誘導、（4）マウス肺およびA549に於いて、高濃度酸素曝露によりSP（肺サーファクタント蛋白）-C の発現抑制、ほかの研究成果を報告いたしました。

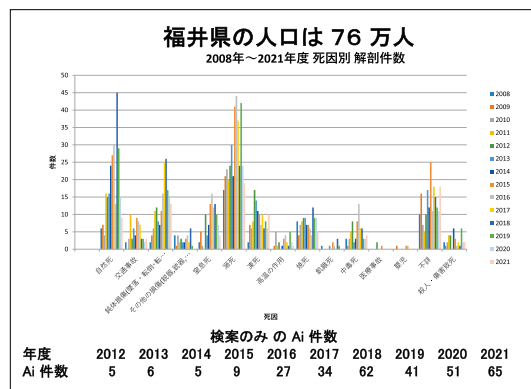
異状死の死因究明活動に関しましては、2007年に発生した大相撲時津風部屋の力士変死事件を契機として、本県に於いても警察および海上保安部からの鑑定嘱託が増加いたしました（図表1、図表2の死因名は、グラフの左側から順に、自然死、交通事故、鈍体損傷、鋭器損傷、窒息死、溺死、凍死、高温作用、焼死、飢餓死、中毒死、医療事故、嬰兒殺、不詳、殺人および傷害致死）。2010年10月以降は、本学Aiセンターの御遺体専用CTおよびMRIの活用が可能となり、剖検所見、死亡時画像診断（Autopsy imaging: Ai）、生化学検査などを取り揃えて御遺体の証拠化が出来るように改善されました。

社会的反響の高かった解剖事例として、2010年の強盗殺人事件、2011年の海岸線での死体遺棄事件、2014年の絞殺事件（病死として処理された父親の司法解剖を実施していれば、この事件を防止出来た）、2015年のキャンパス内での殺人事件、2017年の金槌に因る殺人事件、2020年の死体遺棄事件（裁判が始まっていない）ほかがございます。これらの鑑定嘱託関連書類の保管・管理を、私の退官後も、本学で半永久的に執行して頂ける御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今後の課題ですが、長時間労働の労災補償の対象疾病に脾臓疾患も加えたいと考えており、必ず、論文ほかで成就したいと存じております。



司法解剖	58	69	71	89	119	91	82	130	140	126	119	121	89	83
承諾・調査法解剖	1	0	0	1	0	18	23	34	22	12	42	25	7	5



奉職中は、格別の御厚情を賜り厚く御礼申し上げます。奉職中に賜りました皆様方からの薫陶の一つ一つが、私の今後の人生の宝物です。これからも、生涯現役で新たな社会奉仕に取り組む所存でございます。

— 初日影 道走りの 紅き顔 —



福井大学での13年間を振り返って

こしじ たかあき
腰地 孝昭 (退職時所属・職名：器官制御医学講座 外科学(2) 教授)



私は2009年5月に着任しました。当時、臨床医として毎日の心臓血管外科手術に没頭していた私が、まさかアカデミアに迷い込むとは想定していなかったのですが、大学の同期である故横田義史福井大学教授(分子生化学)の誘いもあって教員として医師人生の大転換をすることになりました。

あれから13年経って、あっという間に定年退職の日を迎えることになりました。この間、どれだけのことが出来たのか定かではありませんが、教室員の総力で安定した心臓血管外科、及び呼吸器外科の手術成績を残せたことは間違いありません。また、少ないながら胸部外科を志す若手が現れたことも望外の喜びであり、さらに心臓外科・血管内治療・呼吸器外科の各分野で自立した若手の術者を育成できたことも大きな成果と考えます。昨今、外科医を志す若手が減少し、中でも専門性が高くハイリスクでつづしが効かない(だから面白い)心臓血管外科、呼吸器外科を専攻する若手はまれな存在です。人口の少ない福井県で胸部外科の講座を維持するのは正直楽ではありませんでしたが、そうかと言って学生のためにも市民のためにも大学病院から心臓外科の火を消すわけにはいきません。今後心臓外科は循環器内科とのハートチームを基盤に、

呼吸器外科は呼吸器内科とのチーム医療で新しい治療に向けて前進することを願ってやみません。

後半は、管理運営・社会貢献についてです。私は副病院長(医療安全)として4年間、病院長として5年間、病院の管理運営に携わりました。副病院長の時にはいきなりとある問題で記者会見する羽目に合いましたが、おかげで医療安全について随分勉強させて頂きました。病院長になってからは新病棟開院に続く、外来・検査棟の再整備、及びそれに伴う予算超過のため役員会で毎回頭を下げる羽目にもなりましたが、それでも何とか皆さまの力を借りて事業を完遂できたことは嬉しい限りです。

さらに、Covid-19問題です。病院長5年目は経営が楽になるはずともくろんでいましたが、間際になって福井県でも2020年3月に第一例が出て、現在の第6波まで累計患者数は8,000人以上に上ります。特に第一波、第二波の頃は今から考えると少ない患者数ながら、県内の医療体制も整っておらず、連日行政、県医師会、感染症指定病院等基幹病院の折衝が続く暗黒模索状態でした。この時、たまたま私は県医師会副会長を兼任していたこともあり、大学病院も応

分の負担をすべきと考えて専用病棟での受け入れを決断しました。とは言っても、これはICT(感染症チーム)や現場の看護師等の献身的な努力で成し得たことですが、このことが福井の新型コロナ医療に与えたインパクトは大きかったように思います。2021年3月、病院長退任にあたって一連のコロナ対策に対して学長表彰を受け、県医師会からも最高優功賞を授与されましたが、これは皆さま方の代表として受けたものと感謝申し上げます。

最後に、私はもう少し臨床医として働くため福井の地を離れます。新幹線敦賀延伸の頃にはさすがに現在のコロナ騒動は収束して社会経済活動も回復しているでしょうから、あわら温泉に泊まって越前ガニを堪能する日が来ることを心待ちにしています。これまで、公私ともお世話になった方々に心より感謝申し上げます。



泌尿器科医として、また1研究者として —福井大学での20年間を振り返って—

よこやま おさむ
横山 修 (退職時所属・職名：器官制御医学講座 泌尿器科学 教授)



2002年5月本学の泌尿器科学教授に採用され、泌尿器科医として約20年間福井大学の病院診療、研究、教育に携わってきました。赴任当初は教室員も関連病院も少ない中で、どうしたら教室員を増やせるのか、どうしたら福井県の泌尿器科診療を充実できるのか、思い悩んでおりました。私の出身が金沢大学であり、幸い福井県には知り合いの先生も多いので、その利を生かして関連病院の獲得のため奔走しました。その結果、福井赤十字病院、公立丹南病院、福井勝山総合病院、市立敦賀病院、福井県立病院のような福井を代表する病院が、福井大学泌尿器科の専門研修プログラムにおける連携研修施設に加わっていただけることになりました。そして次第に入局する教室員も増え、この20年で体制が整ったと感じています。また、福井大学病院を中心とするセンター化も実現し、より多くの紹介患者を獲得して大学病院の患者数増加、手術数の増加に貢献できたと自負しています。癌関連では、ロボット支援手術などの泌尿器科内視鏡手術を立ち上げ、現在腎癌、膀胱癌、前立腺癌に対するロボット支援手術数は500例を超えました。排尿関連では、泌尿器科女性外来を立ち上げ、尿失禁手術や骨盤臓器脱手術を開始しました。教授就任早々にJA厚生連や県医師会と協力し福井県の前立腺癌検診

を開始し、またJA厚生連との共同研究として疫学調査を立ち上げ、メタボリック症候群あるいは生活習慣病と夜間頻尿などの下部尿路症状との関連について解析結果をもとに住民啓発を行ってきました。その結果、多くの前立腺癌を早期に発見し、前立腺肥大症・夜間頻尿・尿失禁の患者数増加にも貢献できました。この疫学調査の結果をもとに、生活習慣病に関連する下部尿路症状の分子レベルでの病態を解明し、治療法についても動物モデルを用いて考案し報告してきました。また、脳血管障害、脊髄損傷、前立腺肥大症などの下部尿路閉塞、間質性膀胱炎、心理ストレスなども病態モデルを駆使した研究で注目されてきました。教室員から日本泌尿器科学会学会賞、日本排尿機能学会学会賞、日本老年泌尿器科学会学会賞の取得者も多く輩出しています。私自身、神経泌尿器科領域で1番権威のある国際禁制学会（第46回国際禁制学会、2016年）において「Metabolic syndrome and lower urinary tract symptoms」と題してState of Art Lectureを行い、その内容は権威ある雑誌に掲載されました。生活習慣が排尿障害の原因であるとの内容で世界的な反響を得て、研究成果の一部は新聞で報道され、学術以外にも広く社会に発信されました。生活習慣病の予防が下部尿路症状、

特に夜間頻尿の予防に重要であることが一般の市民にも周知されたと思います。

このような成果を踏まえ、福井市で全国レベルの4つの学会、すなわち第18回日本排尿機能学会（2011年）、UDSフォーラム（2015年）、第19回日本女性骨盤底医学会（2017年）、第31回日本老年泌尿器科学会（2018年）を主催し、全国から大勢の参加者がこの地で集いました。

この20年間、すばらしい教室員や福井大学の皆様のお陰で、つつがなく、私の思い通りの仕事をすることができました。この稿を借りて厚くお礼申し上げます。



放射線医学教授職退任にあたって

きむら ひろひこ
木村 浩彦 (退職時所属・職名：病態解析医学講座 放射線医学 教授)



2007年12月に放射線科の教授を拝命して14年の月日が経ち、本年3月31日に大過なく退官を迎えられたこと、まず関係各位に深く感謝いたします。この間の臨床、教育、研究それぞれの分野を振りかえってみました。

臨床については、画像診断分野において検査の高度化と精緻化が加速度的に進行しました。加えて検査数でも、MRIは3台体制になり年間8,000～9,000件に、CT2台で年間20,000件を超える件数に増加してきました。この10年間でざっくりと30～40%の増加に加え、核医学検査では新たにFDG-PET検査が加わり、これだけでも年間で1,000件を超えました。これらの増加する画像検査を安全に確実に各診療科の要望に応えてゆくには、教室内の放射線科医の協力はもちろんのこと、放射線部の診療放射線技師、看護部、受付の方々の協力なくしてはとても立ち行かないと痛感しました。一方で放射線科医のリクルートには、地方大学の放射線科教室どこもが苦慮しているように、福井大学の放射線科もこの14年間での入局者はたったの20名程度でした。専門医を育成し、需要の拡大する放射線検査や放射線治療をカバーするには全く人手不足であり、苦しい状況が当初より続いてきました。さらに関連病院への専門医の派遣依頼に十分に対応できなかったこと、新専門医制度への移行に対応した専門医プログラムにおける連携病院との調整などの問題が現在も多くあり、道半ばで

あることは心残りとなっています。

教育では、教授就任当初より放射線画像等の医学教育資料のデジタル化に取り組み、福井大学医学部における『医学教育システム』の構築をめざしました。このシステムは画像を中心として、その臨床データ、関連論文等を一括して電子的に登録、管理することができ、医学生が模擬的な臨床現場を経験し、自身で考え、結論を見出し、それに対して教員が評価、指導を行うサイクルを想定し、効率的な臨床実習を可能としたシステムです。現在も放射線科の臨床実習のみならず、他科の臨床実習や講義、演習にも用いられており、医学教育のICT化の先駆けともいえる取り組みと自負しています。このシステムを利用して、アップデートしつつ今後も医学部の教育のための基本インフラの一つとして維持されていくことを期待しています。

研究面では1980年の私の入局時、病院にまだ導入されず黎明期であったMRIを、自身の研究分野に選びました。そのMRI撮像方法の開発、発展、臨床応用に至る過程に関わることができたのは幸いであったと思います。特に脳組織や腫瘍の血流や生化学的情報を計測する灌流MR画像やMRスペクトロスコピーに関する研究に関わり、1995年より2年間米国ペンシルバニア大学に留学し、現地での研究の機会を得ることができました。これらは恩師初代放射線科教授故石井靖先生のおかげであります。また留学先での

研究や知見がきっかけとなり、造影剤などの薬品を用いずに組織の血流を非侵襲的に評価できる、Arterial labeling MRI法（以下ASL-MRI法）がその後の研究のテーマになりました。技術的な黎明期から着目し、ASL-MRI法の技術開発や臨床的有用性について数多くの共同研究に参加することができたのは望外の喜びでした。この方法は現在も脳血管障害や脳腫瘍の評価のため広く臨床応用され、日常診療において欠くことできない検査法となっています。開発当初はS/Nの低い画像しか得られなかったことを思えば、格段の進歩を感じています。

しかしながら本来は研究機関でもある福井大学病院は、医師不足から臨床業務で手いっぱいとなり、新たな研究に取り組む余裕がなくなってきました。研究は本来玉石混淆です。すぐには有用な結果でなくても、やがてそのことも重要な知見となるかもしれません。とくに若い世代の研究者には、成果に囚われず自分の好奇心を満たすことに取り組んで欲しいと思います。振り返ると自分は不十分であったと悔やまれますが、教室は若い先生のための研究環境を整え、研究へいざなう仕組みの再構築をしてほしいと願っています。

災害看護と共に23年 —「一つのことを極めなさい」—

さか い おき こ
酒井 明子 (退職時所属・職名：看護学講座 臨床看護学 教授)



平成10年4月に旧福井医科大学看護学科に着任し23年を過ごしました。これまで災害看護一筋に歩んでこれたきっかけは、「一つのことを極めなさい」という恩師の言葉でした。

平成7年(1995)阪神淡路大震災発生後、被災地神戸の公園の巨大テントで生活しながら支援活動を行ってまいりました。傷病者の多くは家族・近隣住民による必死の救出活動によって病院に搬送されましたが、病院は、建物の倒壊や断水などの影響により、手術や透析など救急医療が困難な状況となり、折角助かったいのちの多くが失われました。また、その後の応急仮設住宅でも肺炎や循環器疾患のためボツリボツリと人が亡くなっていきました。医療と言うよりも、住まい・栄養・睡眠などの生活環境の問題が新たな多くの防ぎえた災害死を招く結果となりました。災害による生活環境の変化が健康状態を悪化させる。この時、災害看護の重要性を実感しました。

阪神淡路大震災を機に、平成10年(1998)日本災害看護学会が発足、平成18年(2006)看護系大学院に災害看護学修士課程・博士課程が設置され、平成20年(2008)カリキュラムが改正され、看護学に災害看護学が導入されるようになりました。そして、平成24年(2012)には世界災害看護学会が発足し、災害看護の重要性が世界的に認識されるようになり、研究活動・被災地支援が活発になっていきました。

福井大学着任時(平成10年)は、災害看護の講義は開講されていませんでしたが、看護学生にいのちの大切さを伝えていくには、災害看護学が重要だと考え、急性期看護の中で災害看護の講義を1コマ2コマと増やし続けていきました。その後も、大規模災害が発生すると被災地で支援活動(東海集中豪雨・新潟中越地震・新潟中越沖地震・能登半島地震・熊本地震・ジャワ島中部地震・四川大地震・ハイチ大地震など)を継続し、被災地の現状を学生に伝えていきました。特に、東日本大震災では、発生翌日から被災地に入り、その後10年間、被災者の心理を研究し続け、その危機的な状況と災害による身体とこころの問題を伝えていきました。更に、平成25年(2013)に災害看護専門看護師(CNS)課程が日本看護系大学協議会(JANPU)から認められましたので、本学においても平成25年(2013)に国内初となる災害看護専門看護師課程を設置しました。

「一つのことを極めなさい」という言葉を胸に災害看護学の構築に必死で取り組んでから23年、災害の甚大化、多様化、複合化は更に加速化しています。また、現代は、巨大災害の時代であるとともに悪性感染症の時代であるといわれています。このような災害多発時代においては地域のコミュニティ力が問われます。複合災害や連続災害では、外部からの支援が得られないことも考え、支援がなくても持ちこたえられるだけの地域力を育まね

ばなりません。特に免疫力の低下した人や様々な障害をもった方々など要配慮者の方々が安全に生活していけるようにせつかく助かった命が失われていくことのないようにしなければなりません。常に先が見えない状況が繰り返される中で顕在化してくる多くの矛盾自体が新しい知識や方法を創出するエネルギーになると思います。災害の発生は常に予想外のように見えますが、社会に存在している水面下の問題が災害時に顕在化するとも言われます。災害発生前から地域社会の変化や災害対応への課題に対する準備が必要です。これからの人生のステージでは、地域の課題解決に向け、地域のコミュニティ力を育んでいくための活動を模索していくつもりです。



うえ はら よし こ
上原 佳子

○所属・職名：基盤看護学分野 教授
○就任年月日：2021年4月1日
○出身高校：福井県立藤島高等学校
○出身大学：千葉大学看護学部
○就任前の職名：基盤看護学分野 准教授
○趣味・特技：映画鑑賞、史跡探訪

平成12年に福井医科大学医学部看護学科助手として就任しました。2年目に第一子を出産、看護学科教員として初めて育児休暇と時短勤務を取得し、2人の子育てをしながら福井大学で20年以上教員として勤務することができたのは、

その時々所属長の先生方をはじめ周囲の先生方から、暖かいご配慮とご支援をいただいた御陰と感謝しています。これからは自分が周囲の先生方を支える番、微力ですが福井大学に貢献できるよう頑張ります。モットーは「置かれたところ

で咲きなさい」。どうぞよろしくお願いいたします。



やま むら おさむ
山村 修

○所属・職名：地域医療推進講座 教授
○就任年月日：2021年4月1日
○出身高校：福井県立藤島高等学校
○出身大学：兵庫医科大学
○就任前の職名：地域医療推進講座 講師
○趣味・特技：日本史研究、旅行

2021年4月より地域医療推進講座の教授を拝命しました山村修と申します。私は脳神経内科を専門とし、後遺症を抱える患者さんの社会復帰や療養と向き合ってきました。大学病院を軸に医療連携や多職種連携を学ぶ中で、地域医

療とのつながりを深めました。今後は前任の寺澤秀一先生のポリシーを引き継ぎ、卒前教育にも力を注ぎます。講座の本務の一つは福井県の奨学生（健康推進枠）の教育支援です。医療の枠組みに捕らわれないユニークな人材を育て、地

域を支える仲間を増やして行きたいです。一方で、講座の強みはフィールドワーク研究です。県内各地に出向く研究スタイルで、若手医師の地域定着を目指します。どうか宜しくお願い申し上げます。



もり おか こう いち
森岡 浩一

○所属・職名：医療安全管理部 教授
○就任年月日：2021年4月1日
○出身高校：福井県立藤島高等学校
○出身大学：福井医科大学医学部
○就任前の職名：福井大学医学部 外科学2 講師
○趣味・特技：ゴルフ、スキー、マラソン、天体観測

私は心臓血管外科として約30年間、当大学や金沢医科大学等で心臓・血管を切ってきました。リスクの高い分野であり、どんなに最善を尽くしても亡くなる患者さんがいて常に医療安全管理の方々と関わって参りました。2000年頃から

医療安全に関する考え方が大きく変わり、産業医科大学病院や東京女子医大病院や東京医科大学病院での心臓術後の死亡事故が相次ぎ、この結果学会が主導しての医療事故調査が心臓血管外科領域から始まりました。私の好きな言葉にレ

ジリエンス（回復力・柔軟性・適応力）があります。これを医療安全へ取り入れて自身の長年の心臓血管外科医の経験も生かして患者さんの安全を守るべく尽力したいと思います。



さか まき いっ ぺい
酒巻 一平

○所属・職名：感染症学講座 教授
○就任年月日：2021年4月1日
○出身高校：埼玉県立熊谷高校
○出身大学：福井医科大学
○就任前の職名：富山大学附属病院感染症科 診療教授
○趣味・特技：スーパー銭湯

2021年4月より母校福井大学の感染症学講座に所属させていただいています。2019年末から世界に広がったCOVID-19は日本にも多大な影響を与え、感染症専門医の不足が認識されるようになりました。本講座は感染症専門

医、感染症に強い医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師といった医療従事者を養成することを目的としています。多くの感染症科では感染制御とコンサルタントが中心となっていますが、私自身、自分で診る感染症専門医、主治医になる

感染症専門医でありたいと思っていますし、そのような医師を養成したいと考えています。

臨床の先生は感染症臨床に関して、学生さんは免疫の実験に関してなど、気軽に声をかけていただければ幸いです。



き ど や ひろ やす
木戸屋 浩康

○所属・職名：学術研究院医学系部門 血管統御学分野 教授
○就任年月日：2021年5月1日
○出身高校：福井県立三国高等学校
○出身大学：大阪大学医学系研究科
○就任前の職名：大阪大学微生物病研究所 准教授
○趣味・特技：マラソンと剣道で心と体を鍛え上げること

美しい血管ネットワークはどのように形作られていくのか？ー、この疑問に取り組む血管生物医学を専門にしている木戸屋です。この度、地元である福井に戻って参りました。

私の研究対象は、がんや感染症・生活習慣病などの医学分野から、発生・再生

などの生物学分野まで広範囲に及んでいます。皆さんは動脈と静脈が併走していることをご存じでしょうか？この併走構造ができあがる過程には、動脈と静脈、そして神経や血球細胞を巻き込んだ複雑なドラマが存在しています。そして、動静脈が併走することの利点とは何か？

その答えが知りたい方はぜひ木戸屋研究室へ遊びに来てください。そして、血管のもつ不思議に惹かれ、僕たちと一緒に最先端の研究を楽しみたい方をお待ちしています！



みず の よし ふみ
水野 賀史

○所属・職名：子どものこころの発達研究センター 准教授
○就任年月日：2021年6月1日
○出身高校：私立東海高等学校
○出身大学：名古屋市立大学
○就任前の職名：Visiting Scholar, Department of Psychiatry & Behavioral Sciences, Stanford University School of Medicine
○趣味・特技：旅行（家族と共にRVで行ったデスバレーは印象深い思い出です）柔道式段（精力善用 自他共栄をモットーにしています）

COVID-19パンデミック期間を含む約2年間のスタンフォード大学での研究留学を経て、2021年6月に子どものこころの発達研究センター情動認知発達研究部門の准教授を拝命致しました。情動認知発達研究部門では、主にMRIを用いて

ヒトの脳の構造や機能を可視化し、注意欠如・多動症（ADHD）、自閉スペクトラム症（ASD）などの神経発達症の神経基盤を明らかにすると共に、臨床に役立つバイオマーカーの開発を目指して研究を行っています。また、神経発達症の

神経基盤に対する養育環境の影響の解明や、オンラインによる養育者支援の確立に向けた研究にも取り組んでいきます。これらの研究を通して、子どもたちの幸せに貢献できたらと強く願っています。



しま まさよ
嶋 雅代

○所属・職名：育成期看護学分野 准教授
○就任年月日：2021年4月1日
○出身高校：東京都立松原高校
○就任前の職名：育成期看護学分野 講師
○趣味・特技：山登り、モルカーを愛でる

東京で生まれ育ち、福井県には縁もゆかりもなかった私が本学の一員となり10年たちました。臨床では助産師として働いていましたが、現在は助産師を育てる立場となりました。所属する育成期看護学分野では、助産学を専攻する学生

と教員で福井県内の様々な地域に出向き、地域住民を対象に子宮頸がん・乳がん予防や健診を啓発する健康教育講座をしています。初めは緊張気味の学生ですが、次第に生き生きと積極的に参加者の方々と交流するようになり、私も毎回

新たな発見があります。何より「自分の健康を考える機会になった」「家族と今回の内容を話し合いたい」というお言葉を頂くたびに、福井の女性がますます元気でいられるよう頑張ろうと思います。



きた の ふみ ひろ
北野 史浩

○所属・職名：医学系部門 医学領域 地域医療推進講座 講師
○就任年月日：2021年5月1日
○出身高校：福井県立武生高等学校
○出身大学：富山医科薬科大学
○就任前の職名：医学系部門 医学領域 地域医療推進講座 助教
○趣味・特技：渉猟

寺澤（名誉）教授と一緒に福井県内の初期研修医の教育を始めて既に10年が経過しました。「出前講義」と名付けて夕方以降に各研修病院を訪問し、主に救急外来での診療に関するフィードバックを行っています。現在はコロナ禍のた

め対面講義を避け、テレビ会議の形式に変更しています。嶺南（市立敦賀病院・公立小浜病院）までの移動時間を気にせず講義に集中できるようになり身体的な負担は減りましたが、その分、余計に喋るようになったので、仕事を終えて自宅

に到着する時間は何も変わらないという残念な結果になりました。福井県内の全ての臨床研修指定病院に常勤の救急医が在籍する日を夢見て過ごしています。



いそ さき まこと
磯崎 誠

○所属・職名：脳神経外科 講師
○就任年月日：2021年7月1日
○出身高校：埼玉県立川越高等学校
○出身大学：福井大学
○就任前の職名：脳神経外科 助教
○趣味・特技：低糖質ダイエット、家庭菜園

1997年4月福井医科大学医学部（現・福井大学医学部）に入学し、学生、研修医、医員、助教を経て2021年7月に講師を拝命いたしました。これまでは臨床を中心に研鑽を積み、顕微鏡下の脳手術やカテーテルを用いた脳血管内

治療など脳血管障害を専門としております。研究では高エネルギー医学研究センターや放射線科と共同で脳循環代謝や脳血流評価に関する新規画像技術の開発、臨床応用に取り組んできました。この分野は福井大学の強みのひとつだと

思います。埼玉県出身の私ですが、福井における生活のほうが長くなり、数年前福井市に家も建てました。しばらくこちらに根を下ろし、じっくりと頑張っ参りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



ほそ かわ こう じ
細川 康二

- 所属・職名：附属病院部 麻酔科蘇生科 講師
- 就任年月日：2021年4月1日
- 出身高校：私立洛星高校（京都市）
- 出身大学：京都府立医科大学
- 就任前の職名：広島大学大学院救急集中治療医学 講師
- 趣味・特技：ハイキング、登山

2021年4月に福井に参りました。2003年に京都府立医大を卒業し麻酔科に入った時には福井に来るとは想像していませんでした。厚生労働省で働くことも、広島で救急をやることも。こちらに来てすぐの春は経ヶ岳、夏は白山に登

れました。冬は雪です。天橋立での勤務時の大雪を思い出します。前任の広島大学を去る時に相談した先輩にもうすこし研究を続けてみたらと諭され本職に就きました。敗血症に関わる脳機能障害のメカニズム解明と新規臨床治療の開発を

目指していますが研究は駆け出しの様です。日々の麻酔と集中治療の臨床業務をしっかりとこなしながら、学生教育にも精力的に取り組むなど私のできることを続けます。よろしくお願いいたします。



うめ だ ゆき ひろ
梅田 幸寛

- 所属・職名：病態制御医学講座内科学（3）分野 講師
- 就任年月日：2021年4月1日
- 出身高校：福井県立藤島高等学校
- 出身大学：福井医科大学
- 就任前の職名：病態制御医学講座内科学（3）分野 助教
- 趣味・特技：登山、鉱物収集

令和3年4月1日付けで内科学（3）分野の講師を拝命いたしました梅田と申します。福井医科大学を平成12年に卒業し、平成16年に本学の大学院に入学してから16年連続して在籍させていただいています。これまで、高エネルギー医

学研究センターの皆様にご指導をいただきながら、間質性肺炎やサルコイドーシス、肺癌のPET画像研究を中心に行ってきました。最近では、肺癌の臨床研究を立案・実施しております。遺伝子診断による個別化治療や免疫治療など

がん治療は日進月歩で進んでおり、当科のがん診療のスキルをアップデートし患者さまにより良い治療を届けるべく精進してまいりたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。



わ せ だ ゆう こ
早稲田 優子

- 所属・職名：内科学（3）分野 講師
- 就任年月日：2021年4月1日
- 出身高校：金沢大学教育学部附属高等学校
- 出身大学：金沢大学医学部医学科
- 就任前の職名：内科学（3）分野 助教
- 趣味・特技：県外の友達とおいしい食べ物を送りあう（コロナ禍で会えないので）

2017年に呼吸器内科の助教として福井大学ファミリーの一員となりはや5年が経過しました。歴史的30豪雪に遭遇したり、COVID-19のパンデミックを経験したり、この5年間でかなりの非日常的な状況にあいましたが、その都度みんなで何をすべきかを考え、目の前の困難に

一つ一つ対応し克服してきた経験はまさにこれからのチーム医療として必要なことだと思っています。専門はびまん性肺疾患で膠原病やアレルギー、感染症、癌など様々な疾患が関与し、非常に幅広い知識と様々な診療科やコメディカルとのチーム医療が必要な分野です。2021年

度より講師を拝命し、これからも臨床・研究・教育・そして家では高校生の息子の母親としてますます頑張っていこうと思いますので何卒よろしくお願いいたします。



おくの たかし
奥野 貴士

- 所属・職名：病態制御医学講座小児科学 講師
- 就任年月日：2021年4月1日
- 出身高校：愛知県立一宮高等学校
- 出身大学：福井大学
- 就任前の職名：病態制御医学講座小児科学 助教
- 趣味・特技：スポーツ観戦、車、バイオリン

令和3年4月1日付で小児科学講師を拝命しました奥野です。本学で初期研修、他の周産期医療施設で勤務後、本学に戻り10年目となります。新生児専門医・指導医として主に新生児集中治療と新生児発達外来を行ってきました。新生

児医療はこの30年で大きく変化しています。診療能力向上のため、若手医師と看護師、コメディカルの教育が重要で、力を入れています。また、早産児や病気を持つ新生児の診療も重要ですが、新生児期は誰しも通る時期であり、病気がなくても

周囲のサポートが必要となり、その一助となる診療ができればと思っています。福井のこどもたちのために頑張ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



と な み り か
礪波 利圭

- 所属・職名：基盤看護学分野 講師
- 就任年月日：2021年4月1日
- 出身高校：富山県立小杉高等学校
- 出身大学：福井大学大学院
- 就任前の職名：基盤看護学分野 助教
- 趣味・特技：旅行、ドライブ、読書

令和3年4月1日付で基盤看護学分野の講師を拝命いたしました。

福井で生活を始める前までは、地元で看護師として働いていました。看護師として働く中で、患者さんだけでなく家族の支援の重要性に気づきました。現在

は、家族の支援を行う上で、患者さんと共に生活を送る家族は、どのようなことを思いながら生活を送っているのかを中心に研究を進めています。家族の概念も多様化している中で、家族に対してどのような看護の支援が必要かを、考えてい

けたらと思います。今後とも、ご指導の程、よろしくお願いいたします。



お ざ き く み
尾崎 公美

- 所属・職名：病態解析医学講座放射線医学領域 講師
- 就任年月日：2021年10月1日
- 就任前の職名：病態解析医学講座放射線医学領域 助教

画像診断を通じて、全ての先生方のお役にたち、当院を受診する患者さんにより良い診療を提供できればと考えています。



赤兎山（大野市）

教務情報システムと提出書類 >>>>

福井大学学生ポータルは、インターネットを通じて、履修登録や時間割、休講等の各種情報確認ができる教務情報システムです。インターネットに接続されたパソコンやモバイル端末であれば、学内外を問わず各自のアカウントでログインできます。

本システムを通じて各種情報提供を行いますので、電話番号やメールアドレス等の学籍情報は、常に最新のものを登録しておきましょう。

学生生活を送る上で必要な諸願・届出書類は、以下のとおりです（学務課で様式を配付しています）。

事務手続きや危機管理等のため、該当する場合には学務課へ必ず提出してください。

書 類 名	こんな時に提出してください
欠 席 届	講義を欠席したとき。 ※長期にわたる欠席の場合は診断書、忌引きの場合は会葬礼状などの添付が必要です。
追 ・ 再 試 験 願	追試、再試を受けたいとき。
学 外 実 習 依 頼 書 交 付 願	学外の病院見学や実習に行きたいとき。
入 構 許 可 申 請 書	学内の駐車場を利用したいとき（2km以上）。
課 外 活 動 用 具 借 用 申 請 書	クーラーボックスやテントなどを借りたいとき。
通 学 証 明 書 交 付 願	通学定期券を購入したいとき。
トレーニングルーム利用許可申請書	トレーニングルームを利用したいとき。
災害ボランティア活動報告書・災害ボランティア活動届	災害ボランティア活動に参加したいとき・参加した後。
学 外 活 動 届	部活動の大会など学外で活動するとき。
海 外 渡 航 届 ・ 帰 国 報 告 書	留学や語学研修、旅行などで海外へ行くとき・帰国したとき。
事 故 報 告 書	学内外で事故を起こしたとき（交通事故など）。

事前の申請が必要で
交付等に数日かかり
ますので早めに提出
してください。

このほかにも、成績証明書や健康診断証明書が必要なときに提出する「証明書交付願」、体育館など校内の施設を利用する際の「課外活動施設使用願」などの提出書類があります。必要な時や詳しく知りたいときは、学務課に来てください。

医学部生として知っておくべきこと >>>>

大学生は、高校生までと比べると自由裁量が格段に増えます。その一方、その代償として、思わぬトラブルや重大事起こし、その責任が問われたり、資格の取得に問題が生じる可能性もあります。

医学部生は、将来、医師や看護師等を目指す者として一般社会から高い倫理観が求められるので、社会のルールを守り、節度をもって学生生活を過ごして下さい。

罰金以上の刑に処せられた場合は、法律により国家試験に合格しても免許が得られなかつたり、免許の交付が遅れる場合があります。

例) 医 師 法 (抜粋)

第四条 次の各号のいずれかに該当する者には、免許を与えないことがある。

- 一 心身の障害により医師の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 二 麻薬、大麻又はあへんの中毒者
- 三 罰金以上の刑に処せられた者
- 四 前号に該当する者を除くほか、医事に関し犯罪又は不正の行為のあつた者

- ・ 交通事故
- ・ 交通違反
- ・ 未成年の飲酒
- ・ 男女間のトラブル（ストーカー、強姦罪）
- ・ 喧嘩（暴行罪、傷害罪）
- ・ 薬物の使用
- ・ 不適切なSNSの発信
- ・ 金銭上のトラブル等



《看護学科学生支援活動》

看護学科では、各学年につき2名の学生主任の教員が、入学から卒業するまでの4年間にわたり、学業面、生活面、専門職者としてのキャリア形成等、さまざまなことについてみなさんの相談役となりサポートいたします。

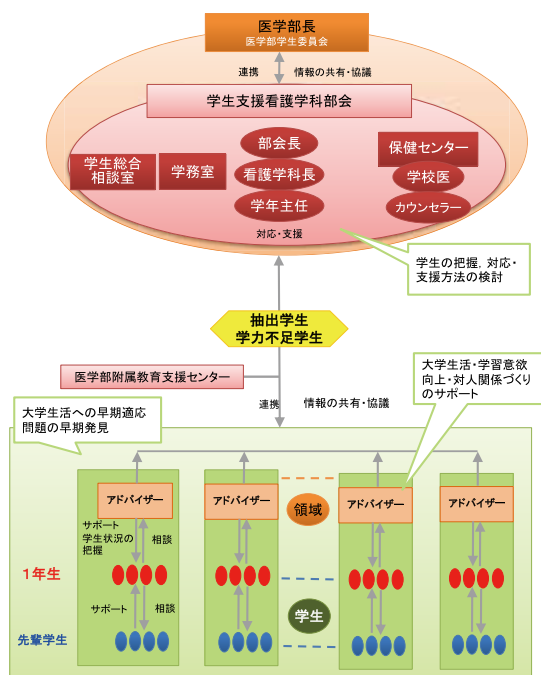
また、新入生のみなさんが1日も早く大学生活に慣れ、有意義な大学生活を送ることができるよう、アドバイザー教員と先輩学生がみなさんと共に小グループを編成し、みなさんをサポートします。小グループでは、大学生活・環境等への適応のお手伝いや、大学での学習意欲が湧くような活動に加え、対人関係づくりを促すような活動を行いますが、他にも行いたいことなどグループの活動内容はグループ全体で決めていきます。みなさんが困ったときは、学年主任、アドバイザー教員、先輩学生、保健センター、学務課などみんなで解決できるような体制ができています。

この活動については、本学看護学科ホームページでも詳しく紹介されています。
<http://nursing.med.u-fukui.ac.jp/>

〈看護学科〉

学年	学 年 主 任	
1年	よつ や じゅん こ 四谷 淳子 (コミュニティ看護学)	きた の か な え 北野華奈恵 (基礎看護学)
2年	うえ はら よし こ 上原 佳子 (基盤看護学)	し みず たか こ 清水 誉子 (臨床看護学)
3年	なみ ざき ゆ み こ 波崎由美子 (育成期看護学)	つき だ か ず み 月田佳寿美 (臨床看護学)
4年	いそ み ち え 磯見 智恵 (臨床看護学)	かわ ぐち 川口めぐみ (コミュニティ看護学)

看護学科学生支援システム



大学生活への適応を 全力でサポートします！

看護学科2年 学年主任 **上原 佳子**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。コロナ禍で大変な中、大学入学をめざして一生懸命勉強に励まれた結果が報われましたね。しかし、入学後もコロナ対策は継続されるでしょう。部活動やアルバイト、旅行や留学など、大学生になったらやってみたかったことが制限される可能性もあります。思い描いていた大学生活とは違うと感じてしまう部分もあるかもしれませんが、その時々可能な方法で、皆さんのやりたかったことにぜひ挑戦してみてください。

そのような中、少しでも早く、新入生の皆さんが大学生活に適応できるよう、学生支援システムがあります。皆さんが学業や生活などで困ったときに相談ができるように、学年主任、アドバイザー教員、上級生、保健管理センター、学務課職員等から内容にあわせてサポートを受けることができます。私達は支援体制を整えて、それぞれが新入生のことを気にかけて、その窓口は常にオープンにしており、全力でサポートする準備をしています。それを積極的に活用するか否かは皆さん次第です。困ったことが起きたときには、ぜひ気軽に相談にきてくださいね。

そのほか、医学部では、「学生総合相談室」(松岡キャンパス管理棟1階)を設けています。何か困ったことがあったら、一人で悩まず気軽に訪ねてください。(詳しくは、P27をご覧ください)

医学図書館へようこそ♪



医学図書館は、講義棟正面入口向かいの建物です。が、今やニューノーマルの時代。皆さんの医学図書館は建物だけではなく「図書館という学習環境」。使い方一つで世界中の情報を手にすることができます。時間は卒業までの数年間。是非使いこんでください。

主な特徴

- 24時間開館
- Wi-Fi 利用可（総合情報基盤センターでの申請要）
- 入館ゲートは学生証でタッチ即入館
- グループ学習に使える情報工房・グループラボ
- 患者さんや一般の方も利用可能
- 自動貸出返却装置で24時間貸出返却可能

医学図書館は、利用者の皆さんの学習・教育・研究をバックアップするため、様々なサービスを提供しています。ご質問等ありましたら、下記へメール、もしくは平日の17時までに電話または直接カウンターへいらしてください。

mllib-sv@ml.u-fukui.ac.jp 0776-61-8258 内線2177

使えるぞ！図書館ホームページ

福井大学図書館 検索

図書館のホームページは、本のありかを調べるだけでなく、インターネット上で利用できる様々なサービスの窓口です。

便利な『マイライブラリ』は本の予約や他の図書館からの本の取り寄せ、購入希望リクエストなどをどこからでも申し込むことができます。



電子ブック

インターネット上で読める教科書・参考書。誰かが借りてるから使えない！ってお悩みがないんです。ダウンロードもできるのでゆっくり勉強できます。動画もあるので細胞の動きなど理解が深まります。英語多読にはMaruzen ebook libraryのMacmillanシリーズがあります。



電子ジャーナル

インターネット上で読める雑誌。世界の研究にいち早く触れることができます。

まずはNew England Journal of Medicineのようなレビュー誌を読んで英語で医学の世界へ踏み出しましょう。

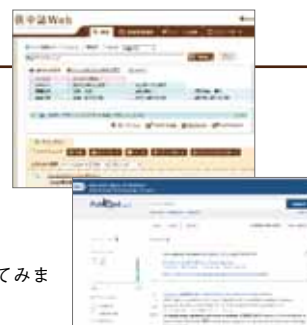


データベース

情報を探するためのツール。

日本語の学術情報 医中誌WebやJDreamIII
外国語の学術情報 PubMedやWeb of Science

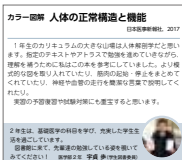
今話題のキーワードで検索してみましょう。



図書委員Webミーティング

図書館の運営に参加できる学生図書委員。

お薦め本紹介やブックハンティング（選書）などあなたの参加をお待ちしています。



GakuNin（学認）

デジタルコンテンツ（インターネット上で使える資料）を自宅や外出先から使う魔法の呪文（ちゃんとしたサービスです）。自宅や外出先から各サービスにアクセスする際には、皆さんの統一認証IDでログインしましょう。



医学図書館 MAP

開館時間	授業期間	8・9月
月～金	9:00～20:00	
土・日・祝日	10:00～17:00	休館

貸出冊数
10 冊

貸出期間
1 週間

24時間利用には特別利用申請が必要です。図書館ホームページから申請してください。

正面玄関

平成22年に改装した玄関はブルーの壁面に白い階段が交差するヨーロッパアン装い。ようこそ医学図書館へ。

ラウンジ

勉強に疲れたらラウンジでほっと一息。おしゃべりもできる。新着図書やミニ展示、留学コーナーなど気になるコーナーを見つけよう。季節のイベントも開催しているので参加してね。

カウンター

本の探し方や図書館の利用方法など気軽にお尋ねください。

言語開発センター

(Self-Access Center(SAC))
語学学習用個人ブースがある。ドラマや映画を楽しみながら語学学習が可能。医学科と看護学科の英語のための教材も揃えている。利用時間は図書館玄関に貼ってあるカレンダーを要チェック。

集密書架

前年までの学術雑誌が並び。ハンドルを回すと書架が移動して中の資料を取り出せる。日本語の雑誌は1987年～外国語の雑誌は1990年～

コピー室

コピー料金
モノクロ 10円/枚
カラー 50円/枚

新着雑誌コーナー

今年分の雑誌が並び。必要な資料があればカウンター前のコインコピー機を利用しよう。一般教養雑誌(Newtonやオレンジページなど)は借りることもできる。

英語論文作成支援コーナー

英語論文作成に役立つ辞書ソフトや図書を利用できる。予約制なのでカウンターに問い合わせよう。

メディアルーム

パソコンを自由に使える。DVD視聴やTV授業の受講にはヘッドフォンを使用して利用しよう。

雑誌閲覧室

自由に座って勉強できる。広めの机は大型の医学書を開いても余裕。

心とからだの本コーナー

医学図書館を利用する患者さんや一般の方向けに心やからだに関する本がある。もちろん皆さんも利用OK。

視聴覚資料コーナー

医学に関するDVDやビデオがある。

情報工房・グループラボ

心理学、社会学、数学、小説など一般教養図書が並び。岩波文庫・岩波新書・講談社ブルーバックス

1F

正面玄関 → ラウンジ 展示コーナー → コピー室 → 集密書架 → 新着雑誌コーナー → 英語論文作成支援コーナー → メディアルーム → 雑誌閲覧室 → カウンター → 事務室 → ピロティ

2F

情報工房・グループラボ → 図書閲覧室1 → 図書閲覧室2 → 図書閲覧室3 → 休憩コーナー → 新書・文庫コーナー → 国試対策コーナー → USMLEコーナー → 診療ガイドライン・癌取り扱い規約コーナー

館内どこでも無線LAN使用可能です。
(手続きは総合情報基盤センターへ)

館内に設置してあるPCでインターネットに接続する場合もご自身の学内無線LAN接続にてご利用ください。

図書閲覧室1

アメリカ医学図書館分類に従って、医学の専門図書が並び。閲覧席は大きな医学書を数冊並べても平気な広いスペースを持ち、いつでも自由に閲覧・勉強できる。

USMLEコーナー

アメリカの医師国家試験用問題集がある。将来海外で働くことも目標の一つに入れては？学生同士の勉強グループもあるので参加してみるのもよい。

国試対策コーナー

医師、看護師、保健師、助産師の国試対策問題集の過去5年分がある。6年後・4年後を目指して今から覗いてみよう。

新着情報をゲットしてね！



@u_fukui_medlib

皆さんの学習環境を守るためのお約束

館内では、本を汚したり、臭いが他の利用者の迷惑になったりすることを防ぐため、蓋付きの容器に入っている飲料のみ持ち込み可能としており、『飲んだらしまう』を合言葉に水分補給を行っていただいています。

飲食する場合は、講義棟1階コミュニケーションスペース(平日8:30～21:00)をご利用下さい。



語学センターのご案内 >>>

平成26年4月1日よりLDC（言語開発センター Language Development Center）が医学図書館1階で運営を開始しました。

福井大学は「21世紀のグローバル社会において、高度専門職業人として活躍できる優れた人材育成」を長期目標に掲げており、社会で実際に「使える」実践的語学力を備え、グローバル社会で活躍できる人材の輩出を目指しています。この目標達成に向けた語学学習環境整備・充実のためにLDCが松岡キャンパスに設置されました。

実践的語学力を身に着けるには授業に加え、コミュニケーション実践も含めた継続的な外国語の自己学習が必要と考えられています。しかし、そのような環境・教材を学生が個人で整備することは非常に困難です。今回のLDC整備によりすべての学生に対して十分な語学学習教材及び環境を提供できるようになりま

した。

LDCは自律的語学学習の場として、個人学習演習室、グローバル演習室やメディカルイングリッシュ演習室を有しており、4技能・語彙・発音・コミュニケーション力と幅広いスキル向上に対応した設備や教材を備えています。周囲を気にせず発音練習をしたり、複数人でコミュニケーションを実践したり、個人学習からグループ学習まで様々な学習形態を実現できます。

また、医学図書館では外国語書籍や外国医療ドラマ等のDVDを配架してい

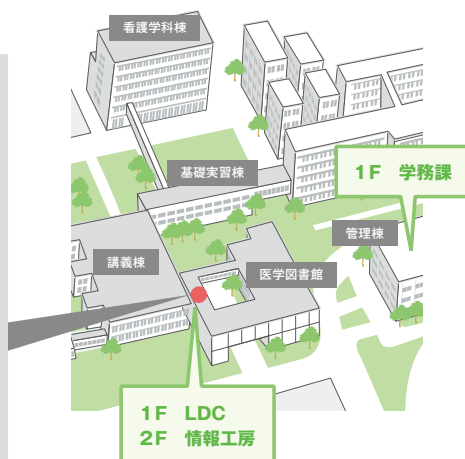
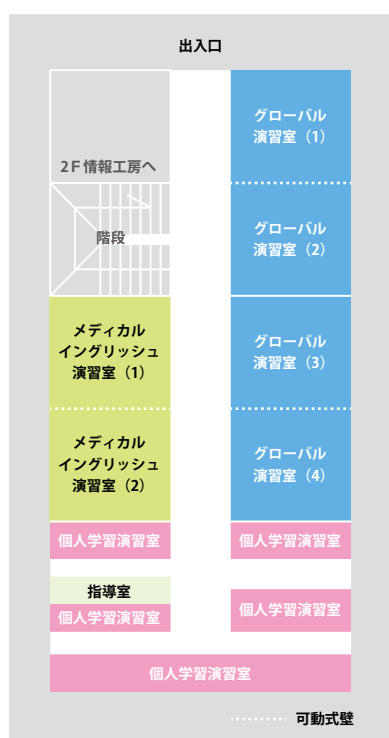


ます。レベル別・分野別の外国語書籍をそろえているので語学力と興味に応じたリーディングが可能です。DVD視聴を通じてリスニング能力のみならず会話で使われるイディオムや語彙力の向上が期待できます。

さらに、松岡キャンパスではLDCを地域の医療従事者にも開放することにより、地域人材のグローバル化対応の支援を目指しています。本学学生および地域人材からグローバル人材を育成・輩出することで、ひいては地域全体のグローバル化を推進していきます。



LDC配置図



● 語学センター年表

平成23年4月	語学センター設置（文京キャンパス）
平成24年度	自助努力による基盤整備（文京キャンパス）
平成24年度	文部科学省「グローバル人材育成推進事業」採択
平成24年10月	グローバル・ハブ（文京キャンパス）運営開始
平成25年4月	LDC（言語開発センター：文京キャンパス）運営開始
平成26年4月	LDC（言語開発センター：松岡キャンパス）運営開始

DVDステーション

医学図書館2階では、語学学習に役立つ多数のDVDやブルーレイディスクを視聴できます。海外医療ドラマや実際の医療現場で使える英会話講座のDVDなどが揃っています。

読書スペース

医学図書館2階には外国語書籍があり、特に医療系の書籍が充実しています。ビギナー向けの英会話本から世界で活躍したい方向けのUSMLE（米国医師国家試験）対策本まで幅広いレベル別・目的別の本を取り揃えています。

指導室

指導員が常駐している時間には指導を受けることができます（予約制）。

LDC設備紹介

○ 個人学習演習室 (全25室)

各部屋にパソコンを備えた遮音室となっており、マイク付ヘッドホンによりスピーキングを録音して、発音やイントネーションを確認することができます。外国語の総合力の向上、検定試験対策、スピーキング能力やリスニング能力が向上できます。



○ メディカルイングリッシュ演習室 (全2室)

医療現場に必要な臨床英語やコミュニケーション能力を高めるため、「臨床英語に接する機会の充実」を目的に、診察用ベッドや診察機などを設置し病院診療室を再現した部屋となっています。社会に出て実際に遭遇する医学英語の環境をシミュレーションできます。



○ グローバル演習室 (全4室)

英会話のグループレッスンやディスカッション、プレゼンテーションの練習が可能です。

実際のコミュニケーションに近い状況で外国語の実践力を高めることができます。

また、演習室1と2および3と4の中間仕切りを移動することで、2部屋分の広さで使用することもできます。

メディカルイングリッシュ演習室の演習状況を大型スクリーンで映し出し、同時に多くの人数で実践的医療現場の学習をすることも可能となっています。



SACの紹介

Self-Access Center (SAC) は、学生が英語を自主的に学習するために整備されています。

400本以上のDVDをそろえ、個人学習演習室では、遮音設備の整った25のブースでDVDを見ることや、e-learningシステムで集中してTOEICの練習そして、特設ソフトを使って映画を見ながら英語を学ぶこともできます。

DVDは、話題になっている海外の映画・ドラマに限らず、ドキュメンタリーも、ディズニー&ジブリのアニメもいっぱいあります。ジブリアニメを英語で見ませんか？見たことがない海外ドラマにはまってみませんか？

映画を見ながら英語を学ぶ「超字幕」



も使えます。映画を見ている途中で、いつでも単語・文法をチェックすることができます。映画を楽しみながら、英語の単語が増えていきます。ぜひ使ってみてください。

その上、医学英語等、USMLE、TOEIC、TOEFL等の語学試験対策を含めて150冊以上の教材を学生の勉強のために用意しています。自分の好きなように英語のリーディング・リスニング等が練習できます。

SACの教材・DVD等をぜひ試し、自分に合っている勉強方法とペースを見つけてください。

開館の時間は平日17:00～19:50です。(詳しくは図書館・学内で貼っているスケジュールをチェックしてください)

SACに詳しい学生スタッフ (Student



Coordinator) が待っています！

「Join us! 気軽にお立ち寄りください!」



先輩学生からの応援メッセージ >>>

福井で医学を学ぶことの意義

新一年生の皆様、ご入学誠にありがとうございます。Covid-19によるパンデミックの中でも弛まず努力を続けなされてご入学された皆様に多大なる敬意とお祝いを申し上げます。

パンデミックによる世界情勢や日常の変化が目まぐるしい昨今ですが、福井大学医学部におきましてその変化は非常に大きなものとなっています。学生生活の花形である部活動や先輩後輩との食事は制限され、講義や実習なども感染対策を徹底した今までは全く違うものとなりました。海外留学や他大学との交流など、学生一人一人が自分のやりたいことや学びたいことを制限せざるを得ない状況が続いているという現状があります。

このような逆境にあるとき、私には福井

にゆかりのある1人の人物が思い浮かべられます。江戸後期の福井の医師、笠原白翁（良寛）です。皆様ご存知でしょうか、おそらくご存知ないかと思います。笠原白翁は当時非常に高い死亡率であった天然痘から民衆を守るために牛痘（天然痘の予防法）を福井に持ち込み北陸全体へと広げていった人物で、その偉大な功績から福井大学医学部同窓会（白翁会）の名前の由来ともなっている人物です。しかし白翁がその偉大な功績を成し遂げるまでの道のりは決して簡単なものではなく、その行いの目新しさゆえに他の医師や民衆から奇異の目を向けられ蔑まれるという逆境にありながらも私財を投げうって天然痘の撲滅に尽力したと聞きます。このように逆境の中にあっても自らの信念を貫き、自分のやりたいと思うことを成し

遂げた笠原白翁の精神は福井大学医学部にも脈々と受け継がれているのではないのでしょうか。

このパンデミックの中で医学部生として学生生活を送っていく皆様にも、やりたいことができない、思うような学生生活が送れないといった逆境が訪れることがきっとあるかと思います。そのようなときでも、笠原白翁のように諦めず様々なやり方で自分のやりたいことに挑戦し続ける気持ちを持っていれば自ずと道が開けていくと自分は信じていますし、この福井大学医学部ではそういった気持ちをサポートし応援してくれる先輩や先生方にきっと出会うことができると思います。新一年生の皆様と一緒に学生生活を送れることを福井大学学生一同とても楽しみにしています。



さいとう しゅんすけ
医学科6年生 齋藤 駿介

大学生活は一度きり!! 全力で楽しんでください

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルスに負けることなく、この福井大学に入学できたことは、これからどんな困難があっても、皆さんなら乗り越えられると思います。入学後は授業や部活の新歓、自動車学校に通うなど、毎日充実した生活を送ることとなるでしょう。福井大学では、医学科、看護学科合同の授業があったり、部活も合同で行ったりするため、幅広い人間関係が構築できます。福井大学の在校生はみんな思いやりがあるため、皆さんが困っていたらすぐに声をかけるなどして助けてくれると思います。そのため安心して楽しく学校生活を送ってください。また、看護学科は特に人

数も少ないため、グループワークが多く、全員が一丸となって切磋琢磨できます。医学部の勉強は楽しいことも大変なこともあるでしょう。これから一緒に乗り越えていく仲間としてみんなで手を取り合って頑張っていきましょう。3、4年生になると実習が始まります。1年生からコツコツと積み上げてきた知識は必ず実習でも役に立ちます。保健師や助産師も取りたいと考えている方も、1年生から勉強を頑張っていたら、必ず未来の自分が笑顔で過ごせていると思います。私の入学当初は、勉強法が全く分からず悩んでいましたが、先輩や同学年の子、または先生や臨床心理士の先生、学生相談員に相談すると、皆

優しく自分に合った勉強方法を教えてくださいました。福井大学には気軽に相談できる人が多くいるのが1つの魅力だと思います。

また、大学生は長期休暇が多く自由な時間が取りやすいです。そのため大学生でしかできないことがたくさんあります。“人生は一度きり”であると思うので、いろいろな種類のアルバイトをしたり、ボランティア活動に参加したり、コロナウイルスに気をつけながら旅行に行ったりすることで、社会を学び、自分の好きなことや得意なことを見つけて思いつき人生を楽しむことを願っています。

最後になりますが、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



ちかやま
看護学科4年生 近山 あいり

学生総合相談室のご案内 >>>

学生総合相談室は、学生の皆さんの毎日の生活が充実したものになるように、相談（カウンセリング）や、プログラムを提供しています。

具体的な相談内容やカウンセラーの紹介、予約の取り方はホームページをご覧ください。

また、「障がいのある学生及び教職員のための相談室」も併設しております。身体的な病気になった時、日常生活や大学生活に支障を感じるような時も、お気軽にご相談ください。



1 QRコード



←QRコードで
簡単アクセス!

2 アドレスを直接入力

<http://soudan.ad.u-fukui.ac.jp/>

3 福井大学 学生相談室と検索

福井大学 学生相談室

検索

相談のヒントや相談室の最新情報などを配信しています。ぜひ一度ご覧ください。

相談室はここです！



カウンセラーの前川です。
気軽にお越しください。



管理棟の正面玄関を入ってすぐ左手、
学務課と保健管理センターのあいだにあります。

開室時間／月～金 9:00～17:30

※感染症対策として、オンライン面談・電話相談も
実施しています。

E-mail／mg-soudan@ad.u-fukui.ac.jp

電話／0776-61-8802

相談の内容については、
秘密を守ります。

キャンパス・ハラスメント防止のために >>>

— しない・させない・見逃さない

ハラスメントのないキャンパスに —

ハラスメントを受けた と感じたら…

悩みをかかえこまずに相談員に声を届けてください。
相談したことで、あなたが不利益を被ることは決してありません。

ハラスメントを目撃したら…

当事者間の個人的な問題として見過ごさず、助けてあげましょう！目撃したあなたが相談に来ることもできます。

ハラスメントと認定されたら…

福井大学はハラスメントを許しません
ハラスメントの内容によっては、加害者は懲戒の対象となります。

社会に存在する様々なハラスメントのうち 大学において発生する可能性のあるハラスメント

○アルコール・ハラスメント

飲酒に絡む嫌がらせや迷惑行為全般を指します。

○セクシュアル・ハラスメント

身体的な接触、性的暴力あるいは性的ジョークなどで、相手に不快感を与える性的な言動を指します。同性間でも発生することがあります。

○パワー・ハラスメント

教職員が職務上の権限を用いて、不適切で不当な言動を行い、他の教職員に対して行う職場における嫌がらせ行為などを指します。学生同士の場合、先輩・後輩の間で発生することがあります。

○アカデミック・ハラスメント

指導教員等がその権力を用いて、不適切で不当な言動を行い、学生や教員に対して行う教育・研究上のいやがらせ行為などを指します。

いつでも相談してください

福井大学

保健センター・学生総合相談室

栗田 智末 前川 伸晃

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電 話／0776-61-8567（栗田）

0776-61-8802（前川）

E-mail／mg-soudan@ad.u-fukui.ac.jp

電話・Eメール・手紙・直接訪問するなど、あなたの一番いいかたちで相談してください。あなたの相談があなたの許可無く記録・報告されることは決してありません。**秘密は厳守します。**

福井大学医学部

～愛と医術で人と社会を健やかに～

【作成】福井大学学務部松岡キャンパス学務課

令和4年度 学生定期健康診断等日程表 >>>

from 保健センター

日 程	検査項目等	対 象 者
5月6日(金)(予定) (※詳しい日程は決まり次第 お知らせします)	全学生定期健康診断 ●身長・体重測定 ●血圧測定 ●胸部X線撮影 ●尿検査	全学生 医：1、6年生 看：1、4年生
5月～12月 (※詳しい日時は決まり次第 お知らせします)	B型肝炎血液検査及び HBワクチン接種 ① ワクチン接種前血液検査 ② 1回目HBワクチン接種 ③ 2回目HBワクチン接種 ④ 3回目HBワクチン接種 ⑤ ワクチン修了後、抗体血液検査	医：3年生 看：2年生
4月～6月 10月(秋期入学生)	B・C型肝炎、末梢血一般等 血液検査	医：1年、学士編入生 看：1年生 院：1年生(希望者)
5月	メンタルヘルス検査	医・看：1年生
11月 (※詳しい日時は決まり次第 お知らせします)	インフルエンザワクチン接種	医：3、4、5、6年生 看：2、3年助産学専攻生、4年 院：希望者

※「医」は医学科、「看」は看護学科、「院」は大学院を示す。

注 意

各健診の受検については、学生メールや掲示板等でお知らせします。

掲示する日程表の全課程は、日時を守る必要があり、途中で受け忘れると無効となりますので注意してください。

※日程変更は出来ませんので、日時を厳守のうえ受けてください。

健康相談とカウンセリング >>> from 保健センター

身体的な悩みや異常について気になる時や、学生生活における不安や悩みがある時は、学校医、カウンセラー、看護師による健康相談やカウンセリング等を利用してください。

健康相談（内科医師）



わせだ ゆうこ
早稲田 優子



みよし まちこ
三好 真智子

健康相談（整形外科医師）



たなか たかあき
田中 太晶

健康相談（産婦人科医師）



たまむら ちよ
玉村 千代

健康相談（精神科医師）



うえの かんじ
上野 幹二

健康相談（歯科口腔外科医師）



よしむら ひとし
吉村 仁志

カウンセリング（臨床心理士）



くりた ともみ
栗田 智未
相談日／月曜日～金曜日
9時～17時30分

健康相談（看護師）



なかじま みか
中嶋 美佳
相談日／月曜日～金曜日
9時～17時

※医師に相談を希望される方は、予め保健センター内事務室（電話0776-61-8575）まで申し出て下さい。
※カウンセリングは、なるべく電話予約（電話0776-61-8567）をしてください。
※相談内容については、秘密を厳守いたします。

手洗い、できていますか?? >>> from 保健センター

【洗い残しがありませんか?】



【時間をかけて丁寧に洗いましょう!!】



【手指消毒を習慣づけましょう!!】

★アルコール消毒剤は濡れた手に使用すると効果が落ちてしまいます。
手の水分をきちんと拭いてから使用しましょう。

★アルコール消毒剤は乾く際に消毒効果が発揮されます。
使用した際は乾燥するまでしっかりと手に擦り込みましょう。

★ジェルタイプは1プッシュだと足りないこともあります。
手全体に十分にいきわたる量を使いましょう。

★手を拭く際も気を付けてください。濡れたタオルは思っている以上に菌が繁殖しています。
ハンカチ、タオルはこまめに替える、もしくは使い捨てのペーパータオルを使うのがよいでしょう。

松岡地区保健センター
<http://www.fukui-u.ac.jp/~hoken/>

イッキ飲み、しない!させない!社会のルール >>>

from 保健センター

4月は新入生を迎え、歓迎会・コンパなどの飲み会が増える時期かと思えます。お酒は、お互いの理解を深めるには潤滑油として好都合なのですが、盛り上がるとついつい限度も考えず一気に早飲みし、血中のアルコール濃度が急上昇した結果、急性アルコール中毒になり、ひどい場合には死者が出ることもあります。

また、お酒に慣れていない人だけでなく、「飲める方だ」と思っている人も、それを過信してムチャ飲みし、救急車で運ばれる人は後をたちません。

そして、最近はイッキ飲みをさせた側が加害者として責任を追及されるようなケースが増えてきています。アルハラ（アルコール・ハラスメント、飲酒にまつわる人権侵害のこと）といわれるように、イッキ飲みを強要したり、はやしたてただけでも、刑事・民事責任を問われることがあり、また、飲んだ後の車の運転については、同乗者も道路交通法により厳しく罰せられ、お酒は飲み方次第で楽しいものにもなりますが、毒になる恐さを伴っています。

特に歓迎会などを主催する学生は、後輩のための思いやりが仇にならないよう、下記の4カ条を参考に、自覚と責任をもって対処しましょう。



【コンパ主催者・幹事の「責任」4カ条!】

責任その1：主催者・幹事には、アルコール・ハラスメントのない飲み会を行う責任がある。
飲めない人のためにノンアルコール飲料を用意すること。

責任その2：「吐かせればよい」という考え方は非常に危険。主催者・幹事は
「吐く人の出ない飲み会」にするよう心しなければならない。

責任その3：酔いつぶれた人が出た場合には、主催者・幹事に保護責任が生じる。
絶対に一人にせず、意識がない場合は救急医療につなげるなど、最後まで責任を
もたなければならない。

責任その4：未成年者の飲酒は法律で禁じられている。20歳未満は身体が未発達なため、飲酒によって悪影響を受ける。
未成年者に飲ませてはならない。

（イッキ飲み防止連絡協議会／アルコール薬物問題全国市民協会）

特に、『責任その3』においては、命に関わる危険な例として、嘔吐後の誤飲による窒息、転落、交通事故…など、1人にすると何が起きるかわかりません!周囲の人は、『大イビキをかいている』『つねっても反応しない』などの危険信号を見逃さないためにも、そばにいてあげましょう。

【命を救う4回のチャンス】

チャンス1：イッキはさせない

チャンス2：酔いつぶれた人を絶対1人にしない

チャンス3：横向きで自然に吐かせる（誤飲予防）

チャンス4：おかしいと思ったら、ためらわず救急車を

（イッキ飲み防止連絡協議会／アルコール薬物問題全国市民協会）

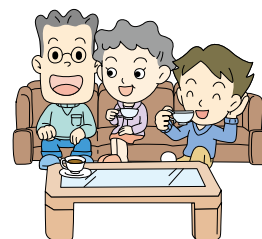
こころの健康について、考えてみませんか >>>

from 保健センター

保健管理センター(松岡地区保健センター) 臨床心理士・公認心理師・大学カウンセラー **栗田 智未**
kurita@u-fukui.ac.jp (TEL:0776-61-8567)

〔大学生の課題〕

著名な発達心理学者E. H. Ericsonによれば、青年期の心理発達課題は、「自分というアイデンティティの基盤をしっかりと固めようとする」ということ。大人へと変化を遂げていく準備をするとても重要な時期です。自分とはいったい何者かという問いを通して自分自身を形成していくのですが、困難な課題に立ち向かうこの時期は一時的に精神的に不安定になることも多く、多岐にわたる悩みを抱えることになります。



〔こころの乱れは生活の乱れ〕

大学生活には様々な新しい体験があります。例えば、一人暮らし。大学生活は、起きる・食べる・身の回りのことを自分でしなければなりません。そして、授業、部活、バイト、友達関係…、めまぐるしい日常の連続です。睡眠不足や偏った食習慣、多忙な生活が続けば、『やる気が出ない、イライラする、周囲の目が気になる』などの不適応状態に陥ります。心の健康は、日常的な普通の生活習慣を維持することから始まります。



〔医学部生はタフ!?!〕

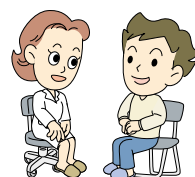
ある調査研究で「医療者は精神的に健康だと自認する人が多い」という報告があります。「自分はタフだ」という思い込みや「弱音を吐いてはいけない」という価値観は向上心に繋がります。しかし、自分をタフだと思っている人ほど周囲に弱みを見せるのを嫌い、自分だけで対処しようと頑張っかえって大きく破綻してしまう場合があります。自分一人で解決できるものもあれば、誰か他の人と相談しないと難しいこともあります。必要な時に他の人を信頼し相談する強さ、頼れるような柔軟さも獲得していきましょう。



〔保健センター カウンセリング室へ〕

学生生活において直面する様々な悩みや問題について、専門的な立場から秘密厳守で相談にのります。人間関係や自分の性格といった悩み、学業や進路に関する悩み、不眠や食欲不振などの身体的な悩みなど、困ったことがあったら相談に来てください。皆さんが想像している以上に、多くの学生が気軽にカウンセリング室へ来ています。

カウンセリングでは、相談者の困っていることや希望を聞き、問題を整理することによって、相談者が自分なりの解決法を得やすいように支援します。その他にも、相談者の希望に応じて、専門的な情報を伝える、関係者の間に入って環境を調整する、適切な人物や機関を紹介するなどします。友達や家族が困っているという場合も利用できます。まずは気軽にドアをノックしてくださいね。



令和3年度学長表彰、医学部優秀学生表彰 >>>

福井大学では、学業成績の優秀者や、課外活動及び社会貢献活動において特に優秀な成績や功績をおさめたと認められる学生に対して、表彰を行っています。令和3年度は、下記の学生が表彰されました。

《学長表彰》

医学科／	そうの しやうご 宗野 匠吾	医学科において学業成績が特に優秀であったため
看護学科／	やまごし ようこ 山腰 曜子	看護学科において学業成績が特に優秀であったため
医学系研究科修士課程／	の はら まさみ 野原 正美	医学系研究科修士課程において学業成績が特に優秀であったため
医学系研究科博士課程／	さ とう まさゆき 佐藤 譲之	国内外の学会等で特に高く評価される研究業績を上げたため
医学科／	あおき まなみ 青木 楨奈美	社会活動において特に顕著な功績があったと認められたため

《医学部 優秀学生表彰》

医学科／	そうの しやうご 宗野 匠吾
	あおき まなみ 青木 楨奈美
	はたやま あかり 畑山 安佳里
看護学科／	やまごし ようこ 山腰 曜子
	く ぼ 久保 あかり
	お かわ 小川 茜



左から 畑山さん、宗野さん、青木さん



左から 久保さん、山腰さん、小川さん

令和3年度卒業生からの寄贈品 >>>

今年度卒業生から、以下寄贈いただきました。ありがとうございました。大切に活用させていただきます。

医学科6年次生

- 一、扇風機…臨床大講義室前に設置
- 一、福井大学基金 高度専門職業人育成・研究支援事業へのご寄附



臨床大講義室前に設置された扇風機

看護学科4年次生

- 一、根拠がわかる疾患別看護過程（改訂第3版）
- 一、経過がみえる疾患別病態関連マップ第2版
以上は医学図書館に設置
- 一、ソファ…看護学科棟2階ラウンジに設置
- 一、延長コード11本
- 一、ステープラ11個
以上はセミナー室11部屋に設置
- 一、福井大学基金 高度専門職業人育成・研究支援事業へのご寄附



看護学科棟2階ラウンジに設置されたソファ

医師国家試験合格状況一覧 >>> from 学務課

『福井大学と出会い』

福井大学医学部附属病院 研修医 の みや ひろ たか
野宮 廣貴 (令和2年度医学科卒業生)



皆さんにとって大学はどのような場所ですか？勉強をする場、部活の場、医師免許を取るまでの仮住まい……。人によって様々な意味合いを持っていると思います。私にとって福井大学は『人生を変える出会い』を与えてくれる場所でした。

千葉県出身で福井県とは縁もゆかりもない私が福井大学を受験するきっかけは、救急部・総合診療部の林教授のネット記事でした。かつて医者になることを諦めた私でも『このような先生の元であれば自分も医者になれるのではないか』と思ったのがきっかけでした。これが1つ目の出会い。良き臨床医になりたいと思って入学した私ですが、気がつけば部活に明け暮れ、勉強がおろそかになっていました。そんな中一人の後輩と出会いました。彼女はいつも一生懸命で困難に打ち勝ち、新しい挑戦をし続ける人でした。(失礼ながら) 似たような境遇から親近感を持っていた私は『その後輩には負けたくない。彼女のように自分も何かに一生懸命になりたい』と思うようになりました。これが2つ目。

その頃に授業中にとある先生がご自身の研究内容を講義されました。『このような理不尽な疾患で苦しむ人を無くしたい』

という言葉とその研究内容を聞いたときに雷に打たれたような衝撃を受けました。その後その先生の下で実験をするようになり、研究なんて全く興味もなかった私が、大学院早期履修の制度を使用し、学部生と並行して大学院生の授業の受講と研究をするようになりました。これが3つ目。

高学年になると就職先が気になります。場所、給料、市中か大学か、福井か地元か……。そんな中に臨床実習中にとある先生が『自分は楽しんで手術をしている。それで患者さんも良くなるし、自分は楽しいし、皆ハッピーや』と笑顔で話しており、『自分も将来どの科に進むかわからないがこの先生のように働きたいな』と強く思いました。その後臨床実習でさまざまな先生を見ていくなかでロールモデルとなるような先生が多いことに気がつき、『自分はこの先生達と一緒に働きたいな』と思い福井大学で研修することを決めました。

6年生になるとコロナの大流行が始まりました。大学生活最後の1年は、試験以外は全てオンラインとなってしまいました。孤独な受験勉強の中、支えてくれたのは6年間一緒に過ごしてきた友達との週2回の勉強会でした。あのような状況の中、心

穏やかに過ごせたのは彼らのおかげだと思います。

現在私は大学病院で尊敬する先輩方の下で研修をし、それと並行して学生時代からの継続で神経変性疾患・精神疾患の病態解明と新規創薬開発の研究をさせていただいています。福井大学に入学してから多くの出会いがありました。その出会いのおかげで現在の私があります。大学は人生を変える出会いのある場所です。不幸にも私は将来の伴侶と出会えませんでした。人によってはそのような出会いをする方もいると思います。今在学中のみなさんはコロナ流行の影響も大きく、なかなか以前のように活動できないとは思いますが、皆様の大学生活が多くの素晴らしい出会いに溢れている事を心より願っています。

私は福井大学に入学できて心からよかったです。この場を借りて皆様に感謝をお伝えしたいと思います。ありがとうございました。

区 分	卒業 年度	受 験 者 数 (人)		合 格 者 数 (人)		合 格 率 (%)	国立大学 (位)	全 国 (位)
		新 卒	既 卒	新 卒	既 卒			
第112回 医師国家試験	H29	116	11	106	6	(91.4) 88.2	37/43	63/80
第113回 医師国家試験	H30	110	15	93	9	(84.5) 81.6	43/43	76/80
第114回 医師国家試験	R 1	106	22	106	16	(100.0) 95.3	7/43	23/80
第115回 医師国家試験	R 2	115	7	111	2	(96.5) 92.6	21/43	43/80
第116回 医師国家試験	R 3	107	7	104	4	(97.2) 94.7	11/43	25/81

(注) ()内は、新卒者の合格率である。

保健師・助産師・看護師国家試験受験状況一覧 >>>

from 学務課

国家試験受験を振り返って

福井大学医学部附属病院 看護部 西出 聖奈 (令和2年度看護学科卒業生)



看護師になるためには「国家試験」というものに合格しなければならない。これは大学入試前から知っていました。けれど、実際に国家試験を意識し、勉強に向き合いはじめたのは実習が終わった4年生の夏でした。私たちの国家試験対策は、コロナ禍ということもあり、先輩たちに聞いていたものとは異なりましたが、この体験を述べていきたいと思います。

国家試験までの過ごし方

国家試験の勉強を意識し、本格的に取り組み始めた夏。まず参考書を購入するところからスタートしました。模擬試験をどんどん受けるようになって、参考書を自分用書き込んだり付箋をつけたりして、使いやすくなりました。その前に大事なことは、全体のスケジュールを立てること、その進捗管理をすることだと思っています。勉強は毎日毎日の積み重ねなので、スケジュールを修正しつつ進めることを、これから受験する皆さんにお勧めしたいです。

友と一緒にだからこそ頑張れた

また、勉強環境を整えることも大事なポイントのひとつであったと思います。図書館で勉強していた人たちも多くいましたが、私は自宅から時間をかけて通学していたので、大学まで行く時間をもたないと考え、同じ状況の友達と作業通話アプリを活用して勉強しました。アプリを活用することで、お互い自宅にいても、同じ空間で一緒に勉強しているような環境を作ることができました。勉強の進捗管理をしたり、相談しながら、励ましあいながら、自宅での勉強を進めることができました。

1人で勉強することは孤独です。特に国家試験は試験範囲も広く、得意な科目も不得意な科目もあるため、ついつい自分にダメ出しをして落ち込むこともありましたが、模試の結果に一喜一憂したこともありましたが、支えてくれたのは周りの人たちでした。みんなとつながることで孤独になることなく乗り切れたと感謝しています。

コロナ禍だからこそ

4年生の1年間は、ずっとコロナ禍でした。全国的な緊急事態宣言の中、オンライン実習やオンデマンド講義も経験しました。このまま看護師になって大丈夫かな？と思ったことも一度や二度ではありません。これからの皆さんも国家試験に向けた勉強

強がどうなっていくか不安なこともあるかもしれませんが、計画を立てて進捗管理をすること、そして、どんなかたちでもいいので、人とつながり、お互いを頼りながら進めることが、これからの財産になっていくと思います。

■ 保健師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第104回	H 29	16	16 (100 %)	0	0	16	16	100.0	81.4
第105回	H 30	16	16 (100 %)	0	0	16	16	100.0	81.8
第106回	R 1	18	18 (100 %)	0	0	18	18	100.0	91.5
第107回	R 2	14	14 (100 %)	0	0	14	14	100.0	94.3
第108回	R 3	17	17 (100 %)	0	0	17	17	100.0	89.3

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

■ 助産師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第101回	H 29	6	6 (100 %)	0	0	6	6	100.0	98.7
第102回	H 30	5	5 (100 %)	0	0	5	5	100.0	99.6
第103回	R 1	6	6 (100 %)	0	0	6	6	100.0	99.4
第104回	R 2	3	3 (100 %)	0	0	3	3	100.0	99.6
第105回	R 3	4	4 (100 %)	0	0	4	4	100.0	99.4

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

■ 看護師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第107回	H 29	56	56 (100 %)	1	1	57	57	100.0	91.0
第108回	H 30	56	55 (98.2 %)	0	0	56	55	98.2	89.3
第109回	R 1	58	58 (100 %)	1	1	59	59	100.0	89.2
第110回	R 2	58	58 (100 %)	0	0	58	58	100.0	90.4
第111回	R 3	62	62 (100 %)	1	1	63	63	100.0	91.3

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

カナダ オンタリオ州オタワより F.GMESの開催にあたって

おお ぬま とし みち
大沼 利通

Visiting Scientist
Benjamin K. Tsang Lab
Chronic Disease Program, Ottawa Hospital Research Institute
University of Ottawa (研究留学中)



私は2004年に福井医科大学（当時）を卒業し、初期研修後の2006年に福井大学産科婦人科学講座へ入局しました。医師としてある程度の研鑽を積んだ後に、産科婦人科学講座及び吉田教授のご支援により、Ottawa Hospital Research InstituteのBenjamin Tsang研究室へ留学をすることとなりました。しかし、留学の直前に新型コロナウイルス感染が急激に拡大し、一旦延期となりました。その後、感染が落ち着き始めた2020年10月末にカナダへ渡航いたしました。コロナ禍のカナダ渡航のため、必要な書類や手続きに多大な労力を要しました。現在もオタワ市内は政府のコロナ対策に反対したデモが発生しており、正にコロナに翻弄された中で研究留学を行っています。

医師としてのキャリアには様々な方向性があると思います。日本国内

で初期研修を行い、その後、専門医を取得し、医師としてキャリアを積んでいくことは容易に想像できます。しかし日本人医師の海外でのキャリアについては、想像することが難しいと思います。私は学生の時に、海外での医師キャリアについて、具体的な話を聞いた記憶がありません。医学生や初期臨床研修医の段階でこのような話を聞くことは、今後のキャリア選択の幅を広げる上で、非常に有用だと思います。

私の様に大学の医局に所属し、研究留学を行うことは、海外を目指す医師キャリアの一つです。

Benjamin Tsang教授の研究室と福井大学産科婦人科学講座は、20年以上にわたり協力関係があります。現在までに3人の医局員が研究留学を行っています。研究は医学進歩の柱です。臨床を知っている医師は、

直面する課題をよく理解しており、研究を円滑に進めていくことが可能です。海外の優れた施設で研究を行うことで、研究遂行能力、異文化への理解とコミュニケーション能力、問題解決能力を向上させることができます。私の経験が今後海外のキャリアを考える医学生や初期研修医の一助となれば幸いです。

最後に、F.GMES (Fukui Global Medical Education Seminar) で私の研究留学の経験について発表する機会を与えて下さいました福井大学医学部附属教育支援センター長の安倍教授と国際課の増田様に感謝を申し上げます。



Ottawa hospital research Instituteがある
The Ottawa hospital general campusの遠景



Faculty of Medicine, University of Ottawa

クレムソン大学との学生交流

クレムソン大学との交流会

医学科6年 山尾 香織子

新型コロナウイルス感染症による影響は依然として続き、新たな変異株も次々と発見され私たちの生活を制限しています。その一方で、このコロナ禍においてオンラインによる活動が盛んとなり、今まで以上に交流の選択肢が増え、参加が容易になったとも言えます。もちろん、オンラインでのコミュニケーションは通常のコミュニケーションに比べ、細かなニュアンスなど伝わりにくく、難しく感じる場合があります。しかし、伝わりやすさについて、より深く考えることができ、私たちのコミュニケーション能力の向上に寄与していると考えます。実際に海外に行くことは難しい現状ではありますが、今いただける機会を最大限活かして、自身の学びにつなげられたらと思い、今回のクレムソン大学との交流会に参加させていただきました。

今回の交流会は初回ということで、福井大学とクレムソン大学の先生方や学生の自己紹介をメインに、簡単なゲームを通して交流しました。オンラインの開催で良かった点は、それ

ぞれ誰が話しているのかがわかりやすく、相互にディスカッションする機会があるということです。また、交流会の最後には米国医学生の学生生活について紹介していただきました。米国の医学教育はさまざまな段階や過程が制度化されており、成長を段階ごとに感じられる反面、とても厳しいと感じました。その他にも、米国と日本における医学教育の違いについて学びました。今後の交流会にて、日本の医学教育についてもよく理解し、情報交換を行えたらと思います。

今回の交流会は、自身の英語能力を振り返る良いきっかけとなりました。私は語学学習は果てのない道の一つであると考えています。自分にとっての課題を一つ克服すれば、また一つ新たな課題が見つかり、改めて簡単ではないと日々思います。外国語をコミュニケーションにおける手段として使用する場合、単に単語や文法

を覚えるというだけではなく、その国の文化や社会についても知る必要があります。これについては、実際に海外に行ってみないことにはわからないものであると思っていましたが、今回の交流会を通して、コロナ禍においても国際交流のチャンスがあることを改めて認識しました。新型コロナウイルス感染症が世界的にも流行している中、海外渡航の目処が立たない状況ではありますが、今後もオンラインという手段も含めて海外の状況や医学生の生活をお互いに情報交換し、医療者としての視野を広げていきたいと思っています。



オンライン交流会の様子

「世界の窓から日本を見る」

医学科5年 長谷川 翔一

福井大学医学部と協定校であるクレムソン大学との学生交流の場として、“Global Chat Series”がZoom開催されることになった。クレムソン大学に在籍し医学部（Medical School）への進学を目指している“Pre-health”と呼ばれる学部学生との交流をメインに、医学教育制度の違いを学ぶほか、ゲスト講師を呼んでのセミナーなどを企画しているようだ。昨今の禍の中で海外の学生と交流するのは貴重な機会であるし、「スピーキングの練習になれば」くらいの軽い気持ちで応募した。初回はアメリカの看護・医学教育システムについて、入学までの流れとその後のカリキュラムを、教員の方と学生に説明いただいた。

日本の医学部は高卒資格のみで受験可能であるが、アメリカの医学部は実績も必要となる。そもそもアメリカのMedical Schoolは専門職大学院に相当するため、学部卒業が大前提である。ただし大卒資格だけでは受験できず、以下の項目を満たす必要がある。①生物・化学系の学士号、②学部時代の高GPA、③医科大学入学共通試験（Medical College Admission Test, MCAT）の合格、④病院での臨床経験（救命救急スタッフなど）やボランティア活動の実績、⑤論文執筆などの研究業績、⑥学部教授などメンターの推薦状（3通

以上）を揃えなければならない。大学時代、ましては高校時代から主体的かつ継続的に行動し、結果と人脈を残さなければ、アメリカで医学部を受験する資格はない。書類試験に加え2回の面接試験では、受験者の経歴や人間性を綿密に評価される。

晴れて合格し新生活に心躍らせることと思いきや、4年で臨床実習までを修了する過密カリキュラムが待ち構えている。1年生では基礎医学に加えEBM・医療政策・倫理学などを学び、2年生では病理学・薬理学と並行して臨床医学・診断学も履修する。3～4年のほぼ全ての期間は臨床実習に充てられる。日本のような見学型の実習ではなく、診察・検査・処方箋の発行など、日本の医師臨床研修に相当する実践的な内容である。卒業後の専門医課程は大学の成績順で希望できるため、人気診療科の競争に生き残るべく在学中の勉強量も尋常ではない。

日本の医学教育も、アメリカに倣ったシラバスに変容している。Post-CC OSCEや臨床実習での医行為の拡大など、実践的な内容が増えてきている。

かといって全て模倣すれば良い、とも思わない。自分語りで申し訳ないが、筆者はいわゆる「再受験組」である。福井の繊維商社勤務

を経て、この大学を再受験した。前の大学では社会奉仕活動など興味がなく、サークルの仲間と飲み屋街をぼっつき歩く日々を送っていた。今では臨床実習に参加できるまでになったが、これがアメリカだったら、私には受験の資格すらなかった。

大学に入学したのちも、様々な背景を持つ人々に出会っている。長い浪人生活を経て入学した人、堅実に研究実績を残した人、ビジネスで結果を残した人、流浪の末流れ着いた人など…。人種・宗教こそ多様ではないが、経歴の面ではDiversityに富んでいる。

アメリカの医学部は受験から卒業後まで、成果主義の側面が色濃い。一方の日本は、高卒資格を所有していれば誰でも受験可能である点で、平等な制度であるといえる。様々な人間が入学を許される。日本の受験制度が真の意味で平等かどうかは議論が残るが、「学問の自由」を保障しようとする制度ではある。

今回の交流会を通してアメリカの医学教育を理解するつもりが、日本の医学教育・教育制度を評価する機会にもなった。“Global Chat Series”はアメリカの医学教育について新たな知見を得られるだけでなく、日本の制度やその背景の価値観を相対視できる機会ともなりうるだろう。

with コロナだからこそできることがある！ 学生アイデアコンテスト

令和3年10月「withコロナだからこそできることがある！学生アイデアコンテスト」が開催されました。ウィズコロナ時代に福井大学がもっといい大学になるためのアイデアをテーマに、本学学生から45点の応募がありました。

学長をはじめ4名の役員が審査した結果、優秀アイデア10点が選出され、医学部からは以下3名のアイデアが選ばれました。

- 優秀賞 Amaging アイデア賞
医学科2年 佐藤 良糸さん



プレゼンをする佐藤さん

「学生向けに作られた、福井大学の公式LINEの作成」

- Greatアイデア賞
医学科2年 石床 竜一さん
「リアルタイムコメントシステム」

- Goodアイデア賞
医学科3年 山本 良太さん
「福大会の開催」

12月に開かれた表彰式には、佐藤さんと石床さんの2名が参加し、佐藤さんは学長や理事を前にプレゼンをおこないました。佐藤さんのアイデアは、LINEア



Greatアイデア賞を受賞した石床さん

プリを利用して、ミニッツペーパー提出のリマインド通知や、教職員に学生相談などができるようにするもので、末理事からは「授業のレポート提出が遅れる学生が多いが、それを解決してくれる良いアイデア」とコメントがありました。また、佐藤さんは、今回のアイデア応募にあたり、プログラミングを勉強し実際にアプリを試作したそうで、安田理事からは「これからのみなさんに求められているものを体現していて素晴らしい」と高く評価されました。



福井大学医学部における災害等発生における取組について

日本各地で地震をはじめとする自然災害が多発する背景を受け、本学では、大規模災害等の危機発生時に、学生の安否確認を迅速かつ確実に実施するため「福井大学安否確認システム（ANPIC）」を導入しています。また、医学科1年、看護学科1年次生に対し、授業中に地震が発生、運動場へ避難しANPICにより安否を回答するという避難訓練を、平成28年度から毎年実施しています。松岡地区

としては例年附属病院を出火場所として教職員による防災訓練を実施していますが、令和3年度は初めて臨床・臨地実習中の学生（実習中の一病棟の学生のみ）も参加する体制をとり訓練を実施しました。皆真剣に参加し学生からは、「避難方法も大切だが、不安になるであろう患者さんへの声かけも大切だと知る貴重な経験になりました。」「病院での避難は、自分自身の身を守るだけでなく患者さん

の避難を誘導したり、自由に動けない患者さんを運んだりするため、かなり大変だということが分かりました。そのため、日頃から避難の方法や経路を確認しておくことが大切だと学ぶことができました。」などの感想が寄せられました。今後も学生の防災意識が高められるような防災対策に取り組んでいきたいと思ひます。



避難訓練の様子



部活動・サークル紹介

男子硬式テニス部 >>>

男子硬式テニス部では、西医体優勝、王座一部昇格を目標に、週3回(火・木・土)、一日3時間のペースで活動しています。これらチーム全体の目標を意識しつつ、個々の目標の達成に向け、少ない時間でも集中して練習しています。コートが9面あり、公式練習がない日でも自主練が思う存分にできます。また、練習では先輩から必ずアドバイスを頂くため日々上達できます。医学部だけの活動ということもあり、少人数での活動ですがその分先輩との距離が近くアットホームな雰囲気が魅力的です。勉強面では、福井は冬に雪が降るのでオフシーズンと活動時のメリハリがあり、冬の試験が忙しい時期などは勉強に集中することができます。普段は男女別々で活動していますが、肝試し、ミックスダブルス、晩祭などのイベントでは男女一緒に活動しています。初心者もたくさんいて、テニス好きな方ならだれでも大歓迎です。気になる方はぜひ試打会や練習に来てください。



女子硬式テニス部 >>>

こんにちは、女子硬式テニス部です！私たちは松岡キャンパステニスコートで週3回練習をしています。練習の時はしっかりと練習に励み、終われば部員全員でふざけあったりメリハリのついた部活です。正直言って、とても楽しい部活です！

テニス経験者はもちろん、初心者も大歓迎です！部員の中でも初心者が半数を占めています！

イベントは男子部と一緒にいきます。部内MIXダブルス大会のあとはみんなで海に行き、BBQ！3月にはみんなでユニバにも行きます。他にも肝試しやハロウィンなどイベントは盛りだくさん！

女子硬式テニス部の魅力はメリハリのついた部活であることと、先輩後輩関係なく、とてつもなく仲の良いところです！くずりゅうを見て興味を持ってくださった方は、是非1度遊びに来て見てくださいね！部員一同お待ちしております。

ソフトテニス部 >>>

こんにちは。福井大学医学部ソフトテニス部です。僕たちは火・木・土の週3で大学横のテニスコートで練習しています。部員は80人近いトップクラスの人数の多さです。大会は主に、4月、6月、8月、11月にありどれも盛り上がる大会です。6、8月に行われる東海大会では参加校は少ないですが参加人数は申し分ありません。なにより看護科と同じ大会に行けるという何よりの利点があります。1年で最も規模の大きい大会が8月にある西医体です。これは西日本の医学科の大学が集まる大会になります。男子は約400ペア、女子は約200ペアも出場します。これほどの規模の大会を経験したことのある人はいないのではないのでしょうか？大盛り上がりの大会で見ているだけでも楽しいです。ここでは先輩たちとの仲を深める絶好の機会、普段関われない学年との絡みは刺激的で非常に楽しいです。ぜひソフトテニス部に来てください。

卓球部 >>>

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。卓球部です！

現在、部員は医学科看護科合わせて約40人で、毎週火、金、土の週3回活動しています。参加は強制ではないので、試験前に勉強を優先することも可能です。気軽に卓球したい人から、バリバリ練習したい人まで様々な部員がいます。卓球は大学はじめてという人でも、先輩が丁寧に楽しく教えてくれるので安心してください！

大会は、6月の北4(北陸の4大学で行う大会)、8月の西医体、3月の西医歯薬(西日本の医薬系の学生が集まる大会)などに参加しています。他県に遠征しての試合があるときは、みんなで観光したりおいしいものを食べたりと楽しいことがたくさんあります。また、部活外でもスノーボードやボードゲーム、釣りなどイベントが盛りだくさんです。

皆さんも卓球部に入って大学生活をより楽しいものにしませんか？入部お待ちしております！



※掲載している写真・内容はコロナ禍前のものもあります。

剣道部 >>>>

こんにちは！私たちは火、木、土の週3日、福井県立大学剣道部と合同で活動しています。大学や男女、先輩後輩の垣根がなく、とても仲の良い部活です。稽古は2時間で集中して取り組み、それ以外では部飯やバーベキュー、観光などを楽しんでいます。

試験前の休みの融通も利き、イベントなどの参加も自由なので、自分自身に合わせた活動をすることができます。

経験者はもちろん、初心者、マネージャー大歓迎です！大学の剣道部はそれぞれが目的を持って活動しており、小中高の部活とは雰囲気違ってとても楽しいですよ！

新品の防具の貸し出しをしているので、初心者や防具を捨ててしまった方でも大丈夫！部員の中には、大学から剣道を始めた人や小学生、中学生以来の人、剣道のことを全く知らなかったマネージャーもいます。剣道は敷居が高いイメージかもしれませんが、実は運動神経の良し悪しに左右されにくく、大人になってから始める人も多い競技です。始める時期、ブランク、関係ありません！私たちがサポートするので一歩踏み出してみませんか？

剣道部一同、皆さんをお待ちしております！！

バドミントン部 >>>>

こんにちは！バドミントン部です！月水土の週3回、松岡キャンパスの医大体育館でわいわい練習やっています。なんとバド部は松岡キャンパス最大規模の人数を誇る部活です。人数が多いからこそ、高校は文化部でスポーツなんかしたことない！みたいな状態からバドミントン始める人からインターハイ出場者までレベルは様々。いろんなレベルの人がいるので誰が入っても楽しめる部活です。先輩も優しく、初心者始めの人が7割くらいなので全く経験なくても大丈夫です。練習だけでなく大会や交流戦もあって他の大学とも交流できます。さらにバド部はイベントも多いです！夏には海に行ったりBBQやったり、遠足もあってUSJに行ったりすることもあります。イベントがたくさんあるのでとりあえず入っておけばきっと楽しい大学生活になりますよ～！興味がある人は気軽に遊びに来てください！



男子バスケットボール部 >>>>

一年生の皆様ご入学おめでとうございます！

男子バスケットボール部は現在プレイヤー23人マネージャー11人で活動しております。週3回月水土に活動しており、西医体で優勝することを目標として日々練習に励んでいます。プレイヤーとしては経験者が多いですが大学から始めた人も多く現在5人の初心者が経験者に混じって試合で活躍しています。現在はコロナの影響もありイベントはあまり行えていませんが、本来であればBBQや忘年会、追いコンなどさまざまなイベントがあり、また練習試合や大会などの遠征先では観光などもしています。真剣に練習しているからこそチームとしての絆が強い部活だとも思います。プレイヤー、マネージャー共に医学科看護学科問わず募集しておりますので是非一度見学しに来てください！



女子バスケットボール部 >>>>

こんにちは。女子バスケットボール部です。女子バスケットボール部は、上下関係なくみんなとても仲が良く日々練習に励んでいます。2019年の近畿医歯薬という大会はベスト16という結果でした。また、大会の後にはみんなで観光やお買い物などと、とても楽しい大会になります！2019年は大阪で大会だったので、道頓堀や心斎橋、EXPO CITYに行き、とても楽しい思い出になりました！また、部活の後には美味しいご飯を食べに行ったり、クリスマス会をしたり、バーベキューなどとても楽しい行事が盛りだくさんですよ！皆さんも是非楽しい思い出を一緒に作りましょう！現在は新型コロナウイルスの影響で思うように活動が出来ない状態ですが、活動が再開したら皆さんと一緒に部活動ができることを心待ちにしています！マネージャーもプレイヤーも大歓迎です！バスケット経験者の先輩もいるので安心してください！見学だけでもいいので一度是非遊びに来てみてくださいね！

準硬式野球部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ここでは、私たちの活動についてご紹介させていただきます。

準硬式野球部は、プレイヤー22人、マネージャー14人で毎週火・木・土曜日の週3回活動しています。大きな大会は北信越地域の大会が春と秋にあり、西日本医科学生総合体育大会(西医体)が夏にあり、この3つに照準を合わせて日々練習しています。

12月からは週2日の練習となり、テストの多い1月～2月中旬にはオフシーズンも設けています。この時期は特に進級に関わるため、勉強にも集中できるようにしています。

現在はコロナ禍で制限されていますが、海水浴やBBQ、花火、スノボなど楽しいイベントもたくさんあります。上級生、下級生の隔たりもなく、下級生から試合に出て活躍している部員も居ます。非常にいい雰囲気で活動していますので、是非練習に遊びに来てください！



伝統空手道部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。伝統空手道部は現在13名の部員が所属し、月、水、土曜日の週3日で活動しています。伝統空手と聞くと取り組みにくいイメージがあるかもしれませんが、部員の大半は大学から空手を始めた初心者なため、誰でも気軽に練習に参加できます。用事や試験がある時は休むことができ、個人競技であるため自分のペースで練習できます。伝統空手は組手と形の2つの競技があります。組手は1対1で闘い、技がきれいに決まったらポイントが入ります。形は仮想の敵を想定し、一連の技のキレイや美しさを競う競技です。部員達は黒帯を取りたい、試合で自分の力を試したい、とにかく運動したいなど様々な理由で練習に励んでいます。TwitterやInstagramに練習中の写真や動画があるので、ぜひチェックしてみてください。武道場でお待ちしています！



柔道部 >>>

こんにちは。福井大学医学部柔道部です！私たちの部活は、現在3名で活動しています。とても少ない部員ですが、人数が少ない分アットホームな雰囲気が私たちのいいところだと思っています！部活動の練習は武道場でしており

- ・火曜日、木曜日は 18:00～20:00
- ・土曜日は 15:00～17:00

で活動しています。アットホームな雰囲気だからこそ先輩とも分け隔てなく練習でき、チーム全体で高めあうことができます。初心者で入部した人でも、卒業するころには黒帯を締めています！

柔道部は部員同士のつながりが強いので、部活動以外でも先輩たちに色々な生活や勉強に対する不安の相談やアドバイスを聞くことができます。部活動以外の不安も入学当初は多いと思いますが、心強い先輩たちがついてきます！

男女問わず経験者はもちろん、初心者やマネージャーを随時募集しています！私たちと一緒に柔道をしてみませんか？ぜひ見学も自由にしてください。部員一同心より待っています！

ラグビー部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に期待や不安を感じている事と思います。福井大学医学部では、様々な部活やサークルが活動しています。部活やサークルに所属することで、先輩後輩含め、交友関係が広がりますし、勉強だけでなくこういった活動に打ち込む事でより楽しく充実した学生生活を送れると思います。そこで、この場をお借りして、ラグビー部についての紹介をさせていただきたいと思います。

ラグビー部は現在、計37人で活動しており、多くの部員は大学からの初心者です。練習は基本火、木、土曜の週3回学校のグラウンドで行っています。夏には西医体という大きな大会があり、そこで勝ち上がって良い成績を収められるよう練習に励んでいます。試験が多い冬場にはオフ期間もあり、勉強の負担にもならず進級間違いなしです。ラグビー部は部活以外にも夏には海へ行ったり、バーベキューをしたりと楽しいイベントもたくさんあり、とにかく仲が良いのが特徴です。2019年に日本で開催されたラグビーワールドカップでは日本中が大熱狂の渦に巻き込まれ、ラグビーブームが沸き起こりました。日本代表の活躍ぶりが勉強で忙しかった皆さんの耳にも入ったのではないのでしょうか。今日本で最もアツいスポーツであるラグビーに僕たちと一緒にプレイヤー、マネージャーとして触れてみませんか？興味があっても無くても新入生には、気軽にぜひ一度遊びに来てください！

男子バレーボール部 >>>

こんにちは！男子バレーボール部です！バレーボールは、テレビの試合中継や漫画、アニメの影響で人気沸騰中の今とてもアツいスポーツです。そのいちばんの魅力は、チーム全員が「自分たちのコート内にはボールを落とさせない」という意志を共有し、1つのボールを必死に追いかけて仲間につないでいくこと。一人一人の強い意志は、観客をも巻き込んで会場全体を熱く盛り上げていきます。この一体感を一度経験してしまえば、その虜になること間違いなしです！私たちは、毎年夏に行われる西医大での優勝を目標に掲げ日々練習に励んでいます。プレーヤーの半分以上が大学からバレーボールを始めた初心者ですが、試合では経験者に見劣りしないほど活躍しています。大学で新しいスポーツを始めたいという初心者の方も大歓迎！アツい仲間が欲しい！スポーツで結果を残したい！イベントで楽しく盛り上げたい！あなたの想いを叶えられる男子バレー部へぜひ！プレーヤーはもちろん、マネージャー也大募集中です！！



女子バレーボール部 >>>

新入生の皆さん、こんにちは！女子バレーボール部です！

私たちは火・木・土の週3回、医大体育館や外部の体育館で練習をしています！女子だけなのでみんなのびのびと、わいわい楽しく練習しています！経験者だけでなく、大学からバレーボールを始めた部員や大学からスポーツを始めた部員も多く活躍しています！！大会でより良い成績を残すことを目指して全員で意見を出し合いながら日々の練習に励んでいます。勉強が大変な時でも部活に行ってみると練習することがとても良いリフレッシュになっています！

バレーボールに興味のある方！勉強も頑張りたいけど運動もしたい方！わいわい楽しく部活に参加したい方！ぜひ一度女子バレーボール部に遊びに来てください！マネージャー也大募集中です！！



サッカー部 >>>

皆さん初めまして、福井大学医学部サッカー部です！私たちは現在プレーヤー22名、マネージャー11名の計33名で、西医体優勝を掲げ、火・木・土の週3日間活動しています。練習メニューは自分たちで考え、真面目に一生懸命取り組んでいます。大変で辛い時もありますが、それを乗り越えたときの達成感や楽しさはひとしおです！今シーズンはコロナの影響もあり、中止になった大会もありますが、ここからは対戦成績について紹介します。今シーズンは東海医歯薬大会準優勝、昨シーズンは北陸4校戦優勝、近畿医歯薬大会3位、東海医歯薬大会3位、天皇杯3回戦進出となっています。また、私たちの部活は先輩後輩の仲も良く、部活以外にも海やBBQ、スノボなどの活動もしています。経験者、未経験者ともに大歓迎です！少しでも興味ある方は遊びに来て下さい！個性豊かな部員がお待ちしています！TwitterやInstagramなどでも活動内容を報告しているので、そちらもよろしければご覧ください！

陸上競技部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！！

我々陸上部は週に3回、火・木・土曜日に活動しています。この陸上部の最大の特徴は、なんといっても競技ブロックとジョグブロックに分かれて活動していること！

競技ブロックは皆さんが陸上部と聞いて想像するような活動をしています。短距離と長距離に分かれて練習しており、初心者から経験者、果ては全国大会を目指すような人まで、いろいろな人が自分の目標に向かって頑張っています。

ジョグブロックはその名の通り、学校の周りや公園をゆっくりと走るという活動が中心です！走るのが好きだけどゆるくやりたい人、運動不足を解消したい人、兼部したい人など、こちらも色々な人が所属しています。

競技ブロックのマネージャー也大募集中です！！

日々の活動は競技、ジョグで別ですが、バーベキューやマラソン大会など様々なイベントを一緒に楽しくやっています。是非一度陸上部に遊びにきてね^^



競技スキー部 >>>

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！こんにちは、競技スキー部です。競技スキー部では4月～11月はオフシーズンでゆるく楽しくインラインスケートや陸上トレーニングを行い、12月にシーズンインし、3月までは休日をメインにコーチや他大学のチームメイトとともにスキーの練習をしています。競技スキーにはアルペン部門とクロスカントリー部門があります。

アルペンスキーは斜面に立てられた旗門に沿って滑り降りてそのタイムを競うスポーツで、早く滑り降りる爽快感は格別です！クロスカントリースキーは平地を進んだり、急な坂を登ったり、多様なコースを駆け抜け、そのスピードを競うスポーツです。

競技スキー部の魅力は文京キャンパスの部員や富山大学、金沢大学の方々と一緒に合宿をするため、他大学との交流が盛んなところです。初心者から始めた部員は他大学にも多く西医体での好成績を目指して全部で30～40人が集まって合宿を行うので毎日楽しく、充実した練習ができます！

せっかく雪国の大学に入学したからには一緒にスキーをしませんか？みなさんと一緒に部活動ができる日を部員一同楽しみにしています！

水泳部 >>>

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

大学生活と言えば、サークルや部活ですね。そしてどの部活に入るかで、大学生活の半分は決まってしまうと言っても過言ではありません。そこで一つ提案があります。君も水泳部に入らないか？（引用 鬼滅の刃）

冗談はさておき、水泳部の良いところを紹介します。1つ目は続けやすいということです。練習は週に2回で勉強やバイトが忙しくても、余裕をもって続けられます。さらに練習は火曜と金曜なので、土日は休みです。

2つ目は、雰囲気の良いところです。先輩や後輩の仲が良く、横だけでなく縦のつながりができます。これからの学生生活や働いてからも、仲間存在はなくてはならないものです。

3つ目は、練習の強度を自分で選べることです。コースが3コースに分かれていて、初心者から経験者まで、ちょうどよい練習ができます。

以上です。読んでくれた皆さん、ぜひ水泳部に遊びに来てください。



ゴルフ部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ゴルフ部では各々が自分のペースでゴルフを楽しむをモットーに活動しています。部員約50人の大半が大学からゴルフを始めており、優しい先輩たちが1から教えてくれます。

普段の活動では毎週月・水曜日に打ちっぱなしで練習し、休みの日には希望者でラウンドに行っています。また夏には合宿や西医体、秋には部内コンペや晩祭の豚汁作りなど大きなイベントも複数あります！

ゴルフ部の活動は基本的に自由参加なので、勉強との両立は簡単すぎて1つも心配いりません。大会に出てバリバリゴルフをしたい人、自然の中で楽しく運動したい人、将来のため大学からゴルフを始めたい人など、少しでも興味のある人は大歓迎です！

四季折々の美しい自然に囲まれてゴルフをしてみませんか？部員一同お待ちしております！



弓道部 >>>

新入生の皆さんご入学おめでとうございます！福井大学医学部弓道部は医学科24人、看護学科1人（男子11人/女子14人）で活動しています。活動場所は松岡キャンパス敷地内にある弓道場で、火曜、木曜、土曜の週3回練習をしています。

弓道部の1番の魅力は学年分け隔てなく仲の良いところです！弓道と聞くと「上下関係が厳しそう…」といったイメージを持つ方も多いと思いますが、普段の練習では先輩後輩関係なく互いに指導し合い和気あいあいと弓道に取り組んでいます。そんな弓道部ですが、何と大学から弓道を始めた部員が8割以上で、今まで運動経験がなかった人でもと～っても始めやすいですよ！少しでも興味があればぜひ一度見学に来て下さいね。

最後に。弓道はひたすらに自分と向き合い、自分と戦っていく武道です。一生に一度の大学生活、私たちと一緒に未知なる自分を「探弓」してみませんか。



ハンドボール部 >>>

こんにちは！ハンドボールというスポーツをご存じでしょうか？名前は聞いたことがあっても、具体的にどんな競技なのか知っている方はあまり多くないと思います。ハンドボールは攻守の切り換えが速く、激しい接触プレイがあり、また高度な戦術も要求されるかっこいいスポーツです！ハンドボール部では西医体優勝を目標に、プレイヤー、マネージャーが一丸となって日々熱心に練習に取り組んでいます。練習だけでなく、夏には海に行ったり、クリスマスにはパーティーをしたりと年中行事・季節のイベントにも力を入れていて部員全員で楽しんでいます！部員のほとんどが未経験から始める人で、練習の頑張り次第で誰でも試合に出ることができます！ハンドボール部に入って、私たちと一緒に大学生活をさらに楽しいものにしましょう！新歓で皆さんに会えるのを部員一同楽しみにしています！



フットサルサークル >>>

こんにちはフットサルサークルです。フットサルサークルは月に2・3回、外部の体育館を借りて活動をしています。初心者から経験者まで様々な学年が集まり、ワイワイ楽しくゲームをしています。時間が余ったときにはPK合戦などを楽しんでいます。今年はコロナウイルスの影響であまり活動できていませんが、来年度は様子を見つつ再開出来るように願っています。また、大会などにも出られたらいいと考えています。部活に入っている人も多いため、いろんな部活の方と交流することもできますし、様々な部活の方から話を聞くことが出来るのが良い点だと思います。活動は強制ではなく、予定の空いているメンバーが集まっていますので、ぜひ、興味のある方はお時間のある時に参加してみてください。お待ちしております。

ダンスサークルRAMSY >>>

私たちRAMSYは2017年に発足したダンスサークルです。経験、性別を問わずダンスに興味がある人が集まり、学祭と新入生の歓迎イベントの年2回の発表を目標に頑張っています。現在やっているジャンルはK-POP、ロック、ブレイク、HIPHOPなどで、それぞれの人が一つのジャンルに限らず興味のあるジャンルを自由にいくつでも練習するという形式でやっています。RAMSYはサークルなので別の部活との兼部や勉強との両立も可能で入っている人の多くが兼部しています。練習は基本金曜日の午後7時から9時までで、発表前はそれぞれのグループでの自主練をしたりして仕上げていきます。今のメンバーの大半が大学からダンスを始めているので、初心者でも気軽に参加できますし、学年関係なくアドバイスしあいながら進めていくアットホームなサークルです。実際にどんなダンスをしているのか気になった人はYouTubeでRAMSY 福井大学と検索してもらえば過去の学祭の動画が出てくるので是非一度見てみてください。少しでも興味のある人は気軽に練習にも来てくれると嬉しいです。



軽音部 M-ROCK >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは、福井大学医学部の軽音部「M-ROCK」です。

M-ROCKの主な活動内容は、個人およびバンド単位で日々の練習をし、ライブに向けて研鑽を重ね、部内または外部の人に向けて、その成果を発表するというものです。

軽音部と聞くと、敷居が高いと言いますか、なんだか初心者は入りづらかったり、お金がかかると言った、マイナスイメージを持たれている方も少なくないとおもいます。しかし、M-ROCKは違います。初心者の人には、同じバンドや同じ楽器の先輩たちが優しく教えてくれるため、今まで楽器を全く触ったことのない人でも楽しんで活動していただけます。また、経験者の人がその実力を発揮できる場も設けられているため、個人個人が自分の好きなペースで活動できる部活です。さらに、現在の部員の男女比および医学科看護科の人数比は、どちらもおよそ1:1であるため、本当にどなたでも入部していただける部活であると自負しております。

練習はバンドごとに日程を決めて行いますので、バイトや他部活との両立もしやすくなっています。部活動全体としては、毎週水曜日の全体ミーティングがあり、連絡事項の伝達やライブの出演バンドの募集が行われます。また、BBQや海水浴、さらにはUSJへ行くなど、季節ごとのイベントも用意されています。

そして、日頃の練習の成果を発揮する場とも言えるライブは、夏と冬の部内ライブに加えて、学祭ライブや学校外のライブハウスで行われるもの、さらに招待を受けて他大学で行うこともあります。特にライブハウスと他大学でのライブは、普段はあまり交流のない外部の人の演奏を聴くことによって、多くのことを学べる機会でもあります。

新入生の皆さん、新たに始まる大学生活を、M-ROCKとともに過ごしてみませんか。入部お待ちしております。



美術部 >>>

美術部では部員一人一人が作りたいものを制作しています。絵、裁縫、レザークラフト、レジンクラフト、木工細工（アコースティックギター）など、部員たちは様々なことに挑戦しています。部室には画材や美術関係の書籍、UVレジン液やUVライトなど、制作のための道具が置いてあります。部室は作業をするスペースとしても作品や道具を置くスペースとしても活用できます。秋の晩祭では作品の発表や展示を行います。皆さん思い思いの制作を楽しんで、自分のしたいことを追求しています。コロナ禍のような環境下でも一生の楽しみを見つけられるのではないのでしょうか。可能な限り平日17:00～19:00に部室を開けますし、それ以外でも自分の都合のいい時間に活動できるため、兼部もしやすいです。部室は福利棟1階です。絵を描きたい、レジンでアクセサリを作りたい、他にも様々な制作をサポートします。興味のある方はお気軽に部室にお越しください。



茶道部 >>>

初めまして！茶道部について紹介します。

まず茶道部がどのような活動をしているかを紹介합니다。普段は週に1回水曜日に先生をお招きし、普段のお稽古をしています。学校外の活動として他校の茶道部と共同でお茶会をしたりしています。

茶道の魅力についてですが、茶道のお稽古を通して日本の伝統文化と礼儀作法を学ぶことができます。茶道は自然や季節とのつながりがとても強く、茶道をすることで今まで気付かなかったような季節の変化を感じ取ったりすることができます。また茶道でする礼儀作法はどうしてそのようにするのかには意味があります。このように茶道を通して今まで気付かないような些細な事を新しい見方をすることができます。新しくなにかを始めたい人や、茶道経験者、和菓子や抹茶が好きな人、他のどんな理由でも一度茶道に触れてみてください。怒涛の大学生活の中、静かな和室の中でお点前を通して自分自身と向き合う、落ち着いた時間をとってみるのはいかがでしょうか。



管弦楽団 >>>

こんにちは！ 福井大学医学部管弦楽団です。例年30～40人程度で、医大生はもちろん福井県立大学の学生と一緒に活動しています。メンバーは経験者から初心者まで幅広く、和気あいあいと合奏を楽しんでいます。

主な活動内容は、年に1回の定期演奏会、公民館・幼稚園・福祉施設などでの依頼演奏、団員でアンサンブルを組んだり吹奏楽をしたりして発表しあう団内発表会、北陸三県と新潟の管弦楽団と合同で2日間に渡って交流する芸交祭、晩祭、合宿などです。

初心者も経験者も大歓迎です！ 楽器を演奏してみたい、誰かと合奏をしたいと思ったら、ぜひ管弦楽団へ！

【活動日・活動場所】火曜日 18:10～21:00 / 福利棟2階部室
土曜日 14:00～18:00 / 福利棟2階部室

【Twitter】@kangen_medfukui 【ホームページ】<http://kangen.bakufu.org/>



熱帯医学研究会 >>>

こんにちは。熱帯医学研究会です。新入生の皆さんご入学おめでとうございます！

当サークルはタイのチェンマイ大学医学部と交流し、よりボーダレスな世界での熱帯医学、国際協力の重要性を学ぶサークルです。週や月の定期的な活動はありませんが毎年12月に日本に訪れるチェンマイ大学の学生と交流します。附属病院を案内したり、福井県内を観光します。また希望する人は9月にタイのチェンマイへ行ってチェンマイ大学の附属病院でタイの医療を学ぶことができます。学生さんに市内を観光案内してもらえる機会もあります。

コロナの影響で活動が難しくなっていますが、興味のある方はぜひ来てください！

文藝・漫画研究会 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。福井大学医学部文藝漫画研究会です。一般的に漫研と呼ばれるサークルで、漫画やゲームといった、いわゆるサブカルチャー的な娯楽が好きな人が集まっています。

ほとんどの部員は他の部活と兼部していて、週2回ある活動日も参加は自由という、なんとも緩いサークルとなっています。また、活動と言っても何かを練習したりするわけではなく、基本的には部室での交流がメインです。部室には漫画が大量に置いてあるので、漫画を読みに来るだけの人もいたりします。

数少ない活動らしい活動は、部誌の制作です。年に4回ほど有志が作成した漫画やイラスト、小説などを集めて本にし、学祭といった学内でのイベントや、コミックマーケット等の即売会で配布します。イベントが開催されれば、の話にはなりますが…。

もし、これを読んで興味が湧いたなら、ぜひ部室に来て実際の雰囲気味わってください。お待ちしております。

HISTRIP >>>

私たちのサークル名である「HISTRIP」とはHISTORYとTRIPを掛けたもので、その名の通り、歴史的な名所を中心に巡っています。訪れる場所や日時はサークルメンバーで話し合って決めており、活動の内容はとても自由です。これまでは、お城を巡ったり、若狭塗の体験に行ったり、海を見にカフェに行ったりしています。メンバーには歴史にめちゃくちゃ詳しい人もいれば、そんなに歴史には詳しくないけど旅行好きだから！と参加している人もいます。例年であれば年に4回ほど活動をしているのですが、最近では状況に応じてオンラインで集まって座談会のような形式でも活動しています。サークルの特性上、なかなか思うように活動できずにいるのですが、常に新しい形で活動をしていこうと思っています。新入生の皆さんといろいろ楽しく活動できるのを心待ちにしています！



救急医療サークルALFA >>>

わたしたち救急医療サークルALFAでは、主に救急ワークショップというものを通じて活動を行っています。

救急ワークショップ(以下、WS)という言葉には聞き馴染みがないかもしれませんが、簡単に説明すると、「体を動かして、楽しく学ぼう!」というものです。

私たちALFAが主催することもあれば、他大学が開くWSに参加することもあります。具体的には、皆さんも一度は聞いたことがある、胸骨圧迫やAED、そして医療ドラマなどで見かける気管挿管やショックなどを実際に行えちゃいます。このWSは、北は北海道から南は沖縄まで、全国の医療系学生とともに活動しており、特に金沢大学と富山大学とは同じ北陸地域として結束も強く、盛んに交流しています。今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から屋内での活動は難しかったので、ビデオ通話を用いての勉強会を主な活動としておりました。親しみやすいスライドとテキストを部員で作成し、ぬいぐるみを使って説明したりと、笑いあふれるオンライン勉強会は盛況でした。多くの部員が兼部をしていて参加も自由です。医療系ならではの救急医療サークルALFAの活動を、ぜひ一度体験してみませんか？



囲碁部 >>>

福井大学囲碁部は現在、黄金期を迎えています。なんと有段者が3人もいるのです。初心者の方も囲碁経験者もぜひ囲碁部に入って私たちと囲碁を打ちませんか？囲碁に興味はあるけどやったことないという方でも、囲碁を教えることができる部員がたくさんいます。囲碁経験者の方にとっても腕を磨きさらに強くなることができます！そして囲碁部は福井大学には珍しい文京キャンパスと合同の部活動です。普段は各キャンパスで活動していますが、合宿などの行事は文京キャンパス囲碁部と合同で行い、様々な人との交流が楽しめます。今は合宿や交流会を行うことが難しいですが、今までのように囲碁を通して交流できるようにオンライン対局などを計画しています。囲碁は趣味の幅を広げることができ、囲碁が打てると将来職場などで囲碁を通じたコミュニケーションをとることもできます。囲碁に興味のある方はぜひ一度囲碁をうちに来てください。

劇団くらげ >>>

こんにちは、劇団くらげです！私たちは福井県立大学と合同で活動を行っており、例年、年3回の公演に向けて台本の読み合わせや発声練習、レクリエーション等に励んでいます。昨年度はコロナウイルスの影響で観客を入れての公演などはできませんでしたが、Youtubeのチャンネルにてオリジナルボイスドラマなどの制作・発表を行いました。演劇をした経験がある方も、ない方も、裏方希望の方も、どなたでも楽しく活動ができる部活です。実際、現在の部員の多くは大学から演劇を始めました。台本を作ることも、演じることも、演出も、スタッフワークもどれも楽しいですよ！

『劇団くらげ』で検索していただければ、当部活のYoutubeチャンネルやTwitterが見つかると思います。見学希望や質問は気軽にDMなどで連絡してください。また、基本的には毎週水曜日の18時から活動をしています。アボなしでの飛び入り参加も大歓迎ですので、ぜひ部室を覗きにきてくださいね！



アカペラサークル MusicGlass >>>>

こんにちは、福井大学医学部アカペラサークルです！

アカペラサークルでは歌うことが好きな人が集まって日々活動しており、部員は現在30人程度です！

イベントが一年を通してたくさんあり、どれも基本的には参加自由なので入部した後も自分のペースで気軽に続けることができます。また、部員のほとんどが兼部しているので兼部の心配はいりません！

～アカペラとは～

アカペラとは声のみを使って楽曲を演奏することである。皆さんがよく耳にするJ-POPや流行りの曲、洋楽など楽器を使わずに声だけで演奏します！基本的には六人で一つのバンドを結成し、それぞれにパートを振り分けられます！

～こんな人におすすめ～

歌うことが好きな人、音楽が好きな人、カラオケが趣味の人、大歓迎です！音楽の経験がなくても大丈夫！初心者をはじめの先輩もサークル内にはたくさんいますし、先輩方が優しく一から教えてくれます！



ECS >>>>

ECSは福井大学医学部が誇る、あのドクターG林寛之先生と一緒に医療会話を楽しく学ぶサークルです！内容は英語版ドクターGのような感じで、林先生が患者役となって私たちが英語で（日本語も可）質問し、診断を目指すという感じです。難しそうだと思うかもしれませんが、林先生や先輩方が優しく教えてくださいるので、1年生からでも余裕です！というか最近は低学年が多い印象ですから、緊張なくとも大丈夫です。英語が苦手・話せない人も大歓迎！自分も全然話せません！活動は月に1回程度で、ゆるい感じなので気軽に参加できます。最近はズームで活動をしています。医学英語は将来必ず役に立つので、とっても有意義な時間が過ごせます。ぜひ皆さんも参加してください。



てつがくカフェ@ふくmedi >>>>

てつがくカフェ@ふくmediは、不定期に学内・学外・オンラインで対話形式のイベントや読書会などを行っています。いま、医学・医療（ケア）の現場で問われている、根本的、すなわち哲学的な課題に対して「てつがくカフェ」という営みを通して一緒に考えてみませんか？哲学の知識は一切必要ありません。気軽な気持ちでご参加ください！開催時には学内掲示やSNS等で告知します。ご連絡はtwitter@tcafe_fukumediまで。

小児ボランティアサークル >>>>

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。私たち小児ボランティアサークルは平日の夕方に一時間、小児科病棟に入院している子供たちと一緒に遊んでいます。入院中の経験は、初めて経験することも多く、記憶に残りやすいです。つらかった治療の記憶もあれば、同じ病室の子と話したり遊んだりした楽しい記憶もあると思います。私はこの活動が少しでも子供たちの楽しい記憶として残ってもらえればと思っています。一緒に遊び終わって帰る時に、「もっと遊んで」とお願いしてくる子や悲しくて泣き出す子もいます。こうした子を見ると、今日も来て良かったと感じます。私は入院している子供たちに少しでも元気を届けようと思ってこのサークルに入りましたが、実際に子供たちと遊んでいると、むしろ元気をもらっているのは私であるように感じています。遊んでいる子供の笑顔は本当に可愛いです。興味がある方、是非一緒に活動しましょう。コロナの影響により活動が難しくなっておりますが、小児科からの許可が下り次第再開します。



邦楽部 >>>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

邦楽部はお琴を演奏する部で、2019年からスタートしました。現在は15人で活動しています。活動日は主に月木土のいずれか週1回ですが、運動部と兼部している部員がほとんどで、それぞれのペースで自由に活動しています。

大学からお琴を始めた部員も多く、福利棟1階の和室で、みんなで教え合いながら和気あいあいと練習しています。お琴ならではの古典楽曲だけでなく、アニメ曲など現代的な曲も演奏します。昨年はコロナ禍であまり活動できていなかったのですが、大学図書館や病院などで演奏することを目標に活動しています。

初心者も経験者も大歓迎！一緒にお琴を演奏してみませんか。

まずは体験だけでも気軽に覗いてみてくださいね。みなさんと一緒に演奏できることを楽しみにしています。



献血ボランティアサークルLaBlood >>>

こんにちは、献血ボランティアサークルの LaBlood です！ 私たちは献血の輪を広げるため

- ・福井県内（主にエルバ）で行われる福井県学生献血連盟主催の献血キャンペーンでの呼びかけや案内のボランティア
- ・晩祭期間中に行われる献血の運営補佐（予定）
- ・福井大学医学部内でもっと献血について知ってもらうための活動

を行っています。

県内唯一の常設の献血場所である献血ホールいぶきは医大から車で30分かかります。そのため、LaBlood では空いているときに LINE グループで声をかけ、一緒に行くことで定期的に献血を行うことを目標にしています。献血が出来ない方も、キャンペーン時の呼びかけなどで献血の輪と一緒に広げてみませんか？ サークル加入だけでなく、献血について知りたいという方！ LaBlood にご連絡ください、待っています。



地域医療サークルぷちぷら >>>

地域医療サークルぷちぷらでは、地域医療やプライマリケアについて学んでいます。学ぶと言っても難しい本や教科書を読まされるわけではありません！メインのイベントは夏に合宿を通じて地域の人と話したり、街巡りをしたり、そばを打ったりします！また勉強会なども不定期で開催しており、その他にも私たちがやりたいことはなんでもできます！もちろんサークルなので参加も兼部も自由です。このようにぷちぷらはとても自由に活動しています。ぜひぷちぷらを通して仲間と出会い、良い思い出を作りましょう！



留学生交流サークルEXCHANGE >>>

私達は留学生との交流活動を行っています。具体的な活動としては、留学生の歓送迎パーティーや、福井やその近辺の観光、日常生活のお手伝いなど、留学生が楽しく快適な留学生活を送れるよう様々な活動を行っています。活動への参加方法は、まず学内掲示板等のビラに記載の連絡先か、もしくは Twitter や Instagram で「留学生交流サークルEXCHANGE」を検索し連絡して頂くと、こちらから LINE グループに招待します。その後、留学生の来日期間中にグループ LINE でイベントへの参加やお手伝いを募集しますので、それに応答することで自分の好きな時に活動に参加できます。留学生と友達になりたい、実践的な英語能力を身に付けたい、海外に興味があるという方は、是非お待ちしております！

今はコロナ禍で留学生が来日できず活動できていない状況ですが、来日できるようになったら再び様々なイベントを企画しますので、今は着実に語学力を磨き、国際交流できる日まで一緒に頑張りましょう！

東洋医学研究会 >>>

東洋医学研究会では漢方を勉強をしています。最初にこのサークルに入ることのメリットを挙げますと、風邪や花粉症や二日酔いが怖くなります。あと楽しいです！また、臨床でも漢方薬は日常的に用いられていて、漢方を学べば治療の幅がグッと広がります！さらに、漢方薬を自由に煎じて飲むことができます。こんな経験、なかなかできないと思います！勉強会は調子が良ければ週に1度、オンラインでやっています。金沢大学や金沢医科大の方も参加されることがあるので、良い交流になります。漢方は西洋医学とは異なる医学なので、学年関係ありません！1年生から6年生までいつでも参加できます。ゆるいサークルなので勉強会の参加も自由です、興味あればぜひ一度来て下さい！



令和3年度 1年のあゆみ >>> from 学務課

4月

6日(火) 入学式
7日(水) 新入生オリエンテーション
～8日(木) 学生定期健康診断(4月～5月)

5月

新型コロナウイルスワクチン接種(1、2回目)
(医学科5～6年、看護学科3～4年)(4～5月)
21日(金) 納骨式
22日(土) 御遺骨返還式、合同慰霊祭

6月

第73回北陸地区国立大学体育大会【中止】
第71回北陸三県大学学生交歓芸術祭【中止】

7月

新型コロナウイルスワクチン接種(1、2回目)
(医学科1～4年、看護学科1～2年)(6～7月)

8月

第73回西日本医科学生総合体育大会【中止】
11日(水) オープンキャンパス(オンライン交流会)

9月

1日(水) 大学院医学系研究科入学試験(第1回)
11日(土) 学士編入学入試
25日(土) 医学科6年 Post-CC-OSCE
30日(木) 学位記授与式(大学院博士課程)

10月

1日(金) 秋季入学式(大学院博士課程)
6日(水) 医学科4年 CBT 試験
～7日(木)
9日(土) 第40回医学部晩祭【中止】
～10日(日)

11月

6日(土) 医学科4年 共用試験 OSCE
7日(日) 医学科学士編入学試験(最終選考)
20日(土) 看護学科推薦入学試験

1月

15日(土) 大学入学共通テスト
～16日(日)
21日(金) 大学院医学系研究科入学試験(第2回)
新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)
(医学科5～6年、看護学科3～4年)

2月

5日(土) 第116回医師国家試験
～6日(日)
10日(木) 第105回助産師国家試験
11日(金) 第108回保健師国家試験
12日(土) 医学科推薦入学試験
13日(日) 第111回看護師国家試験
25日(金) 医学部前期日程入学試験
～26日(土)

3月

12日(土) 医学部後期日程入学試験
16日(水) 医師国家試験合格発表
23日(水) 学位記授与式、学位記伝達式
25日(金) 助産師・保健師・看護師国家試験
合格発表
新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)
(医学科4年)

令和4年度 福井大学医学部授業日程 >>> from 学務課

■今後のコロナ禍の状況により、変更となる可能性があります。ホームページにて随時情報を発信しますので、ご確認ください。
※夏季・冬季・春季休業日は、学科、学年によって異なります。必ず時間割で確認してください。

4月

1日～ 医学科5年実習
6日 入学式
7日～8日 新入生オリエンテーション
11日 前期授業開始
11日～15日 履修科目登録期間
18日～22日 履修科目登録確認・修正期間

5月

6日 定期健康診断
9日～27日 看護学科4年実習
9日～7月29日 医学科6年実習
13日 新入生研修
20日 納骨式(医2年)、動物慰霊祭
21日 合同慰霊祭・御遺骨返還式(医・看2年)

6月

5月下旬～3月上旬 看護学科3年実習

7月

※7～8月 医学科4年 共用試験CBT予備校模試(予定)
※7～9月 医学科6年 医師国家試験予備校模試(予定)

8月

8月上旬 西医体(未定)
5日～9日 看護学科1年実習
10日 オープンキャンパス
8日～9月30日 夏季休業*(12日～16日 大学一斉休業)

9月

3日 医学科6年 Post-CC OSCE
9月中旬 医学科4年 共用試験CBTプレテスト(予定)

10月

1日 開学記念日
3日 後期授業開始
1日～7日 履修科目登録期間
4日、5日 医学科4年 共用試験 CBT
7日 休講
8日～14日 履修科目登録確認・修正期間
9日～10日 晩祭
11日 一部休講(医3年午前)
15日 医学科6年 Post-CC OSCE(予備日・追再試験)
20日、21日 医学科6年 卒業時学科試験(第1回)

11月

12日、13日 医学科4年 共用試験 OSCE
16日 医学科4年 共用試験 CBT 追試験・再試験
22日 水曜日の授業
29日、30日 医学科6年 卒業時学科試験(第2回)

12月

10日 医学科4年 共用試験 OSCE(予備日・追再試験)
14日 医学科4年 共用試験 CBT(臨時再試験・予定)
28日～1月4日 冬季休業*

1月

5日～6日 医学科6年 卒業時学科試験(第3回)
10日～ 医学科4年実習
13日 休講
14日～15日 大学入学共通テスト(13日～15日入構禁止)
31日 金曜日の授業

2月

2月中旬 看護学科2年 実習
8日～ 春季休業*
25日～26日 入学試験[前期日程](24日～26日入構禁止)

3月

12日 入学試験[後期日程](10日～12日入構禁止)
23日 学位記授与式

寄附のお願い >>>

福井大学医学部は、福井医科大学医学科として1980年（昭和55年）に開学し、これまでに約3,700名が卒業し、第42期生が2021年から医師を目指しています。

看護学科は、1997年（平成9年）に設置され、今年25期生が入学し看護師・保健師・助産師を目指しています。

医学部では、最新の医学・看護学知識や技術のみならず、人と社会を健やかにする愛と人命を尊重する信条を学生に提供することで、グローバル社会で活躍できる優れた能力を有し、かつ社会に貢献できる愛に満ちた医療人、さらには次世代の医学・看護学を開拓できる人材を養成したいと考えています。同時に、世界レベルの画期的な研究成果を目指して基礎研究・臨床研究を行うことで、人々の病気克服と健康維持に貢献したいと思っています。そのため高い学習効果が期待できるカリキュラム作成、福井大学発のF-CESSという実際の診療カルテにリンクした学生電子カルテを使用、語学演習室を整備し臨床に通用する英語習得、がん・神経（発達障害・認知症）・アレルギー免疫等の疾患克服を目指した先進的研究、新たな医療技術開発や地域医療、災害医療の向上を目指した研究、こころを反映した脳科学の見える化を目指しています。

今回、これら事業の実現に向けて、卒業生を含め広く学内外の皆様から永平寺町のふるさと納税制度を利用して、福井大学医学部の教育・研究活動の支援や魅力ある医学部・松岡キャンパスづくりのための環境整備等に活用させていただきたいと考えております。

次世代を担う福井大学医学部学生のために、ふるさと納税制度を活用したご寄附にご理解とご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

「ふるさと納税制度を用いた福井大学医学部応援のお願い」

<https://www.med.u-fukui.ac.jp/furusato/>



「福井大学基金（羽ばたけ基金）[®]」について

昨年は、コロナ禍の学生を支援しようと、卒業生の皆様を中心に、2,682万円のご寄附、また、福井県のふるさと納税を活用した、1,203万円のご寄附を賜りました。皆様からのご支援に心より御礼を申し上げます。

大学では、これらのご寄附を、コロナ禍で経済的に困窮する学生に対する奨学金の支給、感染予防・感染拡大防止のために活用させていただいております。また、医学部では、特に、インフルエンザとの混合感染回避のための予防接種、臨床実習のためのPCR検査等にも活用しております。

これらの取組を継続しつつ、ウィズコロナにおける対応を進め、次世代を担う若者達を守り育てるために、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

「福井大学リサイクル募金」について

「福井大学リサイクル募金」は、不要になった古本等を皆様からご提供いただき、その査定換金額が「福井大学基金」に寄附される取組です。是非ご協力ください。

福井大学基金、福井大学リサイクル募金の詳細については、福井大学基金ホームページをご覧ください

<https://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>





浄法寺山（永平寺町）

編集後記 >>> 編集委員長 清野 泰

新入生の皆さん、福井大学医学部へのご入学おめでとうございます。

これから充実した大学生活が始まると思います。自分の大学生時代を振り返ってみると、勉強やクラブ活動を通して今でも交流のある友人がたくさんできました。この友人達は私の大切な宝だと思っています。大学時代にできた友人は一生の友人になりますので、皆さんもたくさんの友人を作ってください。そして、医学部の外にも友人を作りたいと思います。世の中には色々な考え方や価値観を持った人達があります。自分と異なる世界の人と友人になることができれば、人間としてさらに成長できると思います。ぜひトライしてみてください。

最後に、本誌を発行するにあたり、原稿を執筆してくださいました方々、編集委員および担当係の方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。

医学部広報誌編集委員会 >>>

委員長 清野 泰（高エネルギー医学研究センター）

委員 稲谷 大（眼科学）

委員 北出 順子（コミュニティ看護学）

委員 千原 一泰（ゲノム科学・微生物学）

委員 山次 俊介（運動・スポーツ科学）

編集：松岡キャンパス学務課